

**【表紙】**

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】     | 有価証券報告書                          |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条第1項                   |
| 【提出先】      | 関東財務局長                           |
| 【提出日】      | 平成29年6月23日                       |
| 【事業年度】     | 第53期（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）      |
| 【会社名】      | 株式会社ストライダーズ                      |
| 【英訳名】      | Striders Corporation             |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 早川 良一                    |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区新橋五丁目13番5号                  |
| 【電話番号】     | 03(5777)1891                     |
| 【事務連絡者氏名】  | 常務取締役 兼 CFO 若原 義之                |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区新橋五丁目13番5号                  |
| 【電話番号】     | 03(5777)1891                     |
| 【事務連絡者氏名】  | 常務取締役 兼 CFO 若原 義之                |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>(東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

| 回次                                                | 第49期      | 第50期      | 第51期      | 第52期      | 第53期      |
|---------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 決算年月                                              | 平成25年 3月  | 平成26年 3月  | 平成27年 3月  | 平成28年 3月  | 平成29年 3月  |
| 売上高 (千円)                                          | 1,689,293 | 2,690,638 | 3,642,696 | 5,046,810 | 6,366,301 |
| 経常利益又は経常損失 ( ) (千円)                               | 113,755   | 91,435    | 83,194    | 277,339   | 293,121   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益<br>又は親会社株主に帰属する当期純<br>損失 ( ) (千円) | 353,818   | 133,560   | 73,194    | 135,256   | 229,226   |
| 包括利益 (千円)                                         | 311,247   | 88,885    | 78,019    | 90,544    | 247,862   |
| 純資産額 (千円)                                         | 988,333   | 1,140,962 | 1,577,328 | 1,646,052 | 1,898,595 |
| 総資産額 (千円)                                         | 1,992,293 | 2,309,294 | 3,502,215 | 3,605,056 | 3,891,444 |
| 1株当たり純資産額                                         | 11円93銭    | 13円32銭    | 17円40銭    | 18円46銭    | 21円30銭    |
| 1株当たり当期純利益金額又は<br>1株当たり当期純損失金額 ( )                | 4円74銭     | 1円64銭     | 0円86銭     | 1円52銭     | 2円58銭     |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純<br>利益金額 (円)                       | -         | 1円62銭     | 0円86銭     | 1円51銭     | 2円57銭     |
| 自己資本比率 (%)                                        | 48.1      | 48.2      | 44.1      | 45.4      | 48.6      |
| 自己資本利益率 (%)                                       | -         | 12.89     | 5.51      | 8.51      | 12.99     |
| 株価収益率 (倍)                                         | -         | 33.62     | 104.41    | 51.15     | 26.32     |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー (千円)                         | 45,827    | 172,247   | 217,080   | 156,626   | 278,477   |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー (千円)                         | 562,471   | 175,706   | 813,836   | 159,310   | 135,796   |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー (千円)                         | 383,560   | 263,747   | 706,583   | 30,914    | 16,518    |
| 現金及び現金同等物の期末残高 (千円)                               | 562,123   | 1,173,824 | 1,283,481 | 1,310,138 | 1,436,880 |
| 従業員数 (人)                                          | 75        | 62        | 120       | 120       | 131       |
| [外、平均臨時雇用者数]                                      | [28]      | [32]      | [39]      | [52]      | [68]      |

(注) 1. 売上高には消費税等は、含まれておりません。

2. 第49期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額を計上しているため記載しておりません。

3. 第49期の自己資本利益率及び株価収益率については、親会社株主に帰属する当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 提出会社の経営指標等

| 回次                                 | 第49期       | 第50期       | 第51期       | 第52期       | 第53期       |
|------------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 決算年月                               | 平成25年 3月   | 平成26年 3月   | 平成27年 3月   | 平成28年 3月   | 平成29年 3月   |
| 売上高 (千円)                           | 94,963     | 68,291     | 150,356    | 117,882    | 128,553    |
| 経常利益又は経常損失 ( ) (千円)                | 60,379     | 5,641      | 5,444      | 108,639    | 162,151    |
| 当期純利益又は当期純損失 ( ) (千円)              | 321,589    | 66,549     | 24,329     | 58,476     | 194,551    |
| 資本金 (千円)                           | 1,371,406  | 1,403,421  | 1,578,674  | 1,578,674  | 1,582,416  |
| 発行済株式総数 (株)                        | 80,330,896 | 83,555,896 | 88,730,896 | 88,730,896 | 88,870,896 |
| 純資産額 (千円)                          | 927,632    | 1,038,425  | 1,424,412  | 1,440,825  | 1,650,261  |
| 総資産額 (千円)                          | 1,010,220  | 1,169,985  | 2,083,701  | 2,128,228  | 2,386,540  |
| 1株当たり純資産額                          | 11円54銭     | 12円43銭     | 15円99銭     | 16円15銭     | 18円51銭     |
| 1株当たり配当額<br>(内1株当たり中間配当額)          | -<br>(-)   | -<br>(-)   | -<br>(-)   | -<br>(-)   | -<br>(-)   |
| 1株当たり当期純利益金額又は<br>1株当たり当期純損失金額 ( ) | 4円31銭      | 0円82銭      | 0円29銭      | 0円66銭      | 2円19銭      |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純<br>利益 (円)          | -          | 0円81銭      | 0円29銭      | 0円65銭      | 2円18銭      |
| 自己資本比率 (%)                         | 91.8       | 88.7       | 68.1       | 67.3       | 68.9       |
| 自己資本利益率 (%)                        | -          | 6.41       | 1.72       | 4.08       | 11.83      |
| 株価収益率 (倍)                          | -          | 67.46      | 314.12     | 118.32     | 31.02      |
| 配当性向 (%)                           | -          | -          | -          | -          | -          |
| 従業員数 (人)<br>[外、平均臨時雇用者数]           | 6<br>[-]   | 6<br>[-]   | 6<br>[-]   | 7<br>[-]   | 7<br>[-]   |

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 第49期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額を計上しているため記載しておりません。

3. 第49期の自己資本利益率及び株価収益率については、当期純損失であるため記載しておりません。

4. [外、平均臨時雇用者数]は、従業員数の10%未満であるため記載しておりません。

## 2【沿革】

| 年月       | 事項                                                                                                             |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和40年2月  | リース事務機会社として設立                                                                                                  |
| 昭和52年2月  | 商号を株式会社リース電子に変更                                                                                                |
| 平成3年2月   | 株式を店頭登録                                                                                                        |
| 平成10年7月  | 商号を株式会社パーテックスリンクに変更                                                                                            |
| 平成16年4月  | 株式会社郵テック設立                                                                                                     |
| 11月      | 株式会社郵テックから株式会社ジオブレインに商号変更                                                                                      |
| 12月      | ジャスダック証券取引所に上場                                                                                                 |
| 平成17年2月  | 株式会社ブイ・エル・アール設立                                                                                                |
| 8月       | 株式会社パーテックスリンクデジタルデザイン設立                                                                                        |
| 平成18年12月 | 株式会社アガットコンサルティングを完全子会社化                                                                                        |
| 平成19年3月  | 株式会社ディアイティと資本・業務提携                                                                                             |
| 7月       | Your Capital Co., Limited (韓国)の株式を取得し、連結子会社化                                                                   |
| 平成20年2月  | 株式会社パーテックスリンクデジタルデザインが人材紹介事業に進出                                                                                |
| 5月       | 株式会社パーテックスリンクデジタルデザインが人材紹介事業に進出(事業許可取得)、併せて日本キャリア・パートナーズ株式会社に商号変更<br>株式会社ブイ・エル・アールをM&Aグローバル・パートナーズ株式会社に商号変更    |
| 平成21年1月  | 連結子会社日本キャリア・パートナーズ株式会社の全株式を譲渡                                                                                  |
| 2月       | 株式会社エスグラント・アドバイザーズを子会社化し、株式会社トラストアドバイザーズに商号変更                                                                  |
| 3月       | M&Aグローバル・パートナーズ株式会社が株式会社エー・エム・コンボジットを吸収合併                                                                      |
| 4月       | 連結子会社株式会社アガットコンサルティングの株式を譲渡<br>連結子会社株式会社ジオブレインの株式を譲渡                                                           |
| 平成22年4月  | ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所JASDAQ(現 東京証券取引所JASDAQ)に上場                                                    |
| 7月       | 商号を株式会社ストライダーズに変更                                                                                              |
| 平成23年4月  | グローバル芸術家有限責任事業組合を設立                                                                                            |
| 5月       | Your Capital Co., Limited (韓国)の全株式を譲渡                                                                          |
| 平成24年3月  | モバイルリンク株式会社の株式取得及び第三者割当増資の引受により連結子会社化                                                                          |
| 5月       | 有限会社増田製麺の株式を取得し、連結子会社化                                                                                         |
| 12月      | 株式会社グローバルホールディングスを設立                                                                                           |
| 平成25年3月  | 株式会社グローバルホールディングスが成田ポートホテル(現・成田ゲートウェイホテル)を取得、同時にその運営会社である株式会社イシン・ナリタオオヤマ・オペレーションズを連結子会社化し、成田ゲートウェイホテル株式会社に商号変更 |
| 平成26年3月  | 株式会社東京アパートメント保証を設立                                                                                             |
| 6月       | ホテル日航倉敷を所有・運営するロテルド倉敷株式会社を子会社化、併せて株式会社倉敷ロイヤルアートホテルに商号変更                                                        |
| 平成27年3月  | モバイルリンク株式会社が台湾において、合弁出資により新光行動聯網股份有限公司を設立                                                                      |
| 4月       | スリランカにおいてAsia Capital PLCと合弁出資によりStrider Capital Asia PLCを設立                                                   |

### 3【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社（株式会社ストライダーズ）、子会社8社及び関連会社1社により構成されており、IT関連事業、企業再生再編事業、不動産賃貸管理事業、食品関連事業及びホテル関連事業を主な事業として行っております。

なお、当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当しており、これにより、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することとなります。

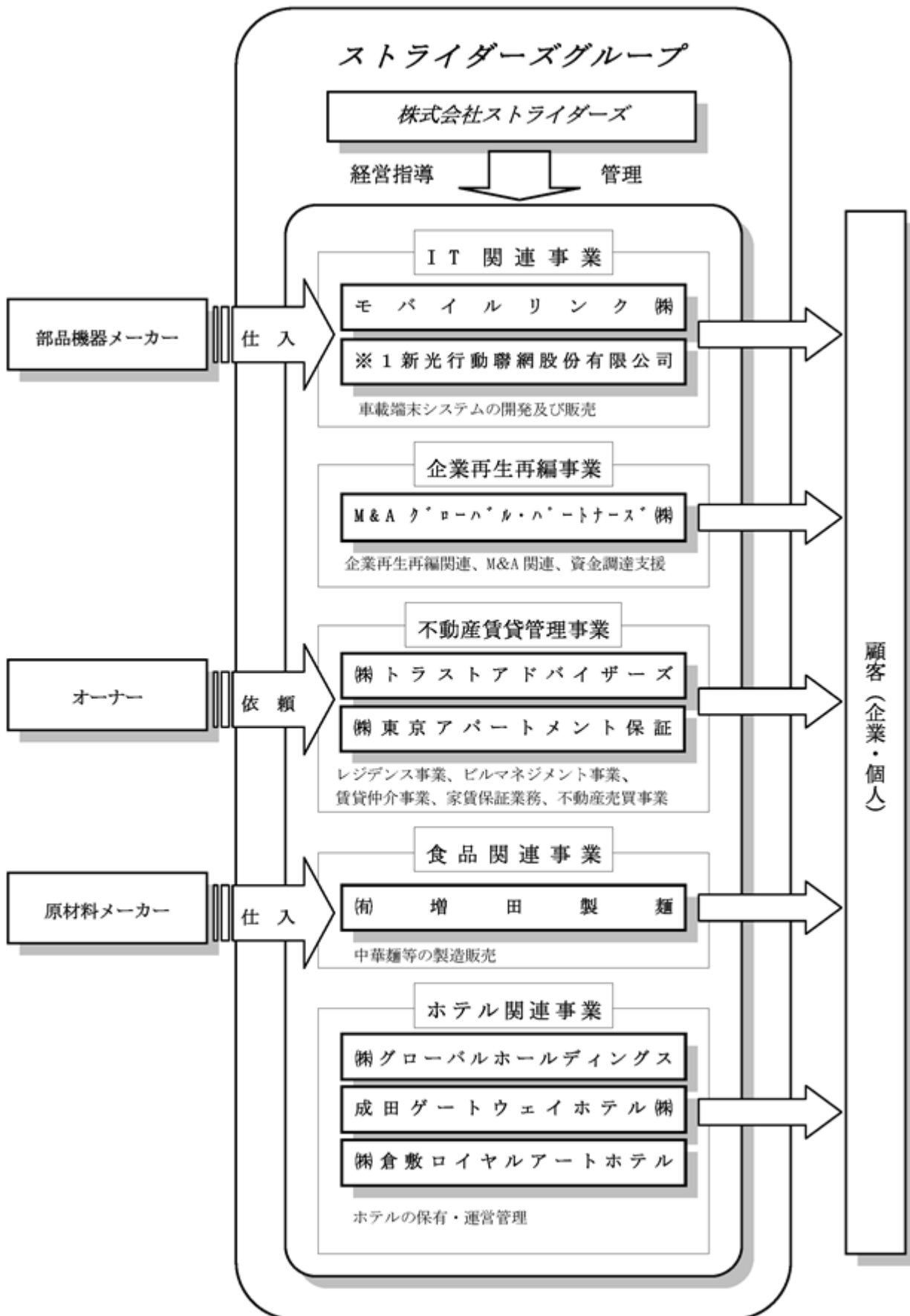
事業の内容と関係会社の状況は、以下の通りであります。なお、次の5部門は「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等（1）連結財務諸表 注記事項」に掲げるセグメントの区分と同一であります。

#### 【事業の内容】

| 事業区分      | 事業内容                                                         | 取扱会社                                                  |
|-----------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| IT関連事業    | ・車載端末システム開発及び販売                                              | モバイルリンク(株)<br>新光行動聯網股份有限公司                            |
| 企業再生再編事業  | ・企業再生再編事業（企業再生再編関連、M & A 関連、資金調達支援）                          | M & A グローバル・パートナーズ(株)                                 |
| 不動産賃貸管理事業 | ・不動産賃貸管理事業（レジデンス事業、ビルマネジメント事業、賃貸仲介事業）<br>・家賃保証事業<br>・不動産売買事業 | (株)トラストアドバイザーズ<br>(株)東京アパートメント保証                      |
| 食品関連事業    | ・中華麺等の製造販売                                                   | (有)増田製麺                                               |
| ホテル関連事業   | ・ホテルの保有・運営管理                                                 | (株)グローバルホールディングス<br>成田ゲートウェイホテル(株)<br>(株)倉敷ロイヤルアートホテル |

## [ 事業系統図 ]

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。



(注) 無印 連結子会社

1 関連会社で持分法適用会社

4【関係会社の状況】

| 名称                     | 住所           | 資本金             | 主要な事業の内容<br>(注)1 | 議決権の<br>所有割合<br>(%) | 関係内容                |
|------------------------|--------------|-----------------|------------------|---------------------|---------------------|
| (連結子会社)                |              |                 |                  |                     |                     |
| M & A グローバル・パートナーズ(株)  | 東京都港区        | 千円<br>50,000    | 企業再生再編事業         | 100.0               | ・役員の兼任あり<br>・資金援助あり |
| (株)トラストアドバイザーズ<br>(注)3 | 東京都品川区       | 千円<br>50,000    | 不動産賃貸管理事業        | 100.0               | ・役員の兼任あり<br>・資金援助あり |
| モバイルリンク(株)             | 東京都新宿区       | 千円<br>65,000    | I T 関連事業         | 100.0               | ・役員の兼任あり            |
| (有)増田製麺                | 神奈川県<br>横須賀市 | 千円<br>45,000    | 食品関連事業           | 100.0               | ・役員の兼任あり<br>・資金援助あり |
| (株)グローバルホールディングス       | 東京都港区        | 千円<br>3,000     | ホテル関連事業          | 100.0               | ・役員の兼任あり<br>・資金援助あり |
| 成田ゲートウェイホテル(株)<br>(注)3 | 千葉県成田市       | 千円<br>3,000     | ホテル関連事業          | 100.0               | ・役員の兼任あり<br>・資金援助あり |
| (株)東京アパートメント保証         | 東京都品川区       | 千円<br>3,000     | 不動産賃貸管理事業        | 100.0               | ・役員の兼任あり            |
| (株)倉敷ロイヤルアートホテル        | 岡山県倉敷市       | 千円<br>27,068    | ホテル関連事業          | 99.8                | ・役員の兼任あり<br>・資金援助あり |
| (持分法適用会社)              |              |                 |                  |                     |                     |
| 新光行動聯網股份有限公司<br>(注)2   | 台湾<br>台北市    | 台湾千ドル<br>30,000 | I T 関連事業         | 49.0<br>(49.0)      | ・役員の兼任あり            |

(注)1. 「主要な事業の内容」欄には、セグメントの名称を記載しております。

2. 新光行動聯網股份有限公司の議決権に対する所有割合欄の( )内数字は間接所有割合(内数)であり、間接所有の会社はモバイルリンク(株)であります。

3. (株)トラストアドバイザーズ及び成田ゲートウェイホテル(株)については、売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等

| (単位：千円)   | (株)トラストアドバイザーズ | 成田ゲートウェイホテル(株) |
|-----------|----------------|----------------|
| (1) 売上高   | 4,400,665      | 862,877        |
| (2) 経常利益  | 152,680        | 95,927         |
| (3) 当期純利益 | 102,651        | 64,964         |
| (4) 純資産額  | 198,203        | 113,136        |
| (5) 総資産額  | 972,398        | 277,229        |

## 5【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成29年3月31日現在

| セグメントの名称  | 従業員数(人) |
|-----------|---------|
| IT関連事業    | 11(-)   |
| 企業再生再編事業  | -(-)    |
| 不動産賃貸管理事業 | 36(3)   |
| 食品関連事業    | 7(10)   |
| ホテル関連事業   | 70(55)  |
| 報告セグメント計  | 124(68) |
| 全社(共通)    | 7(-)    |
| 合計        | 131(68) |

- (注) 1. 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数(パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む。)は、年間の平均人員を( )外数で記載しております。
2. 全社(共通)として、記載されております従業員数は、特定のセグメントに区分できない当社の管理部門に所属しているものであります。

### (2) 提出会社の状況

平成29年3月31日現在

| 従業員数(人) | 平均年齢(歳) | 平均勤続年数(年) | 平均年間給与(千円) |
|---------|---------|-----------|------------|
| 7(-)    | 37.8    | 3.1       | 5,441      |

| セグメントの名称  | 従業員数(人) |
|-----------|---------|
| IT関連事業    | -(-)    |
| 企業再生再編事業  | -(-)    |
| 不動産賃貸管理事業 | -(-)    |
| 食品関連事業    | -(-)    |
| ホテル関連事業   | -(-)    |
| 報告セグメント計  | -(-)    |
| 全社(共通)    | 7(-)    |
| 合計        | 7(-)    |

- (注) 1. 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数(パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む。)は、年間の平均人員を( )外数で記載しております。
2. 全社(共通)として、記載されております従業員数は、特定のセグメントに区分できない当社の管理部門に所属しているものであります。
3. 平均年間給与は、基準外賃金及び賞与を含んでおります。

### (3) 労働組合の状況

労働組合は結成されておりませんが、労使関係は良好であります。



## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

#### (1)業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の底堅さから緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国の景気減速基調や英国の欧州連合（EU）離脱問題による先行き懸念、米国の新政権の政策動向など、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、それぞれの事業において新規顧客獲得に向けた営業活動や経費削減等に取り組むとともに、新たな収益源の獲得に向けた事業投資等についても検討してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は売上高6,366百万円（前年同期比26.1%増）、営業利益279百万円（前年同期比6.0%減）、経常利益293百万円（前年同期比5.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益229百万円（前年同期比69.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### IT関連事業

IT関連事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、主力商品である車輛情報管理システムの販売に加えて、ETC2.0の販売活動を行うとともに経費削減にも努めてまいりました。また、台湾における合弁会社において、自社ブランドの車載器の開発に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度のIT関連事業は売上高308百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益5百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

#### 企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において、資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の企業再生再編事業は売上高30百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益26百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

#### 不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいて、レジデンス事業における積極的な営業活動により管理物件の戸数が増加し、また不動産売買事業も好調に販売件数を伸ばしましたが、サブリース案件で一時的に空室が発生いたしました。

この結果、当連結会計年度の不動産賃貸管理事業は売上高4,401百万円（前年同期比45.6%増）、営業利益166百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

#### 食品関連事業

食品関連事業につきましては、有限会社増田製麺において、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンを中心に中華麺等の製造販売を行っております。取引先であるラーメン店の閉店や自家製麺への切り替え等により受注高は一時減少しましたが、新規取引先の獲得と既存店の店舗拡大により受注高は回復いたしました。

この結果、当連結会計年度の食品関連事業は売上高162百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益13百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

#### ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。いずれのホテルも周辺ホテルとの価格競争により宿泊単価は低下しましたが、競争力維持のため設備の更新や客室のリニューアル工事を実施いたしました。

この結果、当連結会計年度のホテル関連事業は売上高1,463百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益228百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

#### (2)キャッシュ・フロー

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は278百万円(前年同期比77.8%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益277百万円、減価償却費68百万円の計上があったものの、たな卸資産の増加額が91百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は135百万円(前年同期比14.8%減)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が120百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出がそれぞれ82百万円、12百万円あったものの有価証券の売却による収入が44百万円、投資有価証券の売却による収入が32百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は16百万円(前年同期は30百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の増減額が48百万円、長期借入れによる収入が100百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が169百万円あったこと等によるものであります。

## 2【生産、受注及び販売の状況】

### (1) 生産実績

食品関連事業の生産実績は、次のとおりであります。また、IT関連事業、企業再生再編事業、不動産賃貸管理事業及びホテル関連事業につきましては、いずれも生産活動を行っていないため、記載しておりません。

| セグメントの名称   | 当連結会計年度<br>(自平成28年4月1日<br>至平成29年3月31日) | 前年同期比(%) |
|------------|----------------------------------------|----------|
| 食品関連事業(千円) | 97,663                                 | 1.5      |

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 受注状況

IT関連事業の一部及び食品関連事業は受注販売活動を行っておりますが、いずれも受注から納品までの期間が短く受注実績が比較的僅少なため、その状況は記載しておりません。また、企業再生再編事業、不動産賃貸管理事業及びホテル関連事業につきましては、いずれも受注形式の販売活動に該当しないため記載しておりません。

### (3) 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称      | 当連結会計年度<br>(自平成28年4月1日<br>至平成29年3月31日) | 前年同期比(%) |
|---------------|----------------------------------------|----------|
| IT関連事業(千円)    | 308,429                                | 14.4     |
| 企業再生再編事業(千円)  | 30,000                                 | 0.0      |
| 不動産賃貸管理事業(千円) | 4,401,213                              | 45.6     |
| 食品関連事業(千円)    | 162,802                                | 0.0      |
| ホテル関連事業(千円)   | 1,463,355                              | 6.3      |
| 報告セグメント計(千円)  | 6,365,801                              | 26.1     |
| その他(千円)       | 500                                    | -        |
| 合計(千円)        | 6,366,301                              | 26.1     |

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 最近2連結会計年度の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、100分の10未満であるため記載しておりません。  
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 3【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営方針

当社は事業投資を軸にしている会社であります。その事業投資はキャピタルゲインだけを目的としておりません。投資するビジネスがどれだけ社会に貢献し、夢のある未来社会の実現に関われるかを考慮して決定を行います。

また、投資形態としては、子会社の設立、パートナーやファンドとの共同出資、企業買収による経営参画や連結子会社化など、それぞれの事業特性に合わせてもっとも適した方法を採用します。投資は長期保有を原則とし、投資実行後は、当社で培った経営資源を投入し、多角的、重層的に事業展開を支援します。

これにより投資先企業の企業価値を向上させると共に、当社グループ収益の最大化も目指します。

#### (2) 経営戦略

日本国内外において未来型社会の動向を先取りして、事業価値の継続的な成長が予測できる投資先に集中的に投資します。また、競争力が劣位にある企業については、市場での競争力の回復が可能と判断した場合に経営支援や資金支援を行い、高い投下資本利益率を実現できるよう事業の再編を図っていきます。

また、海外投資においては、各国の実情や経済発展の状況に合わせてながら、当社の経験値をベースに成長産業に投資してまいります。

#### (3) 経営環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の底堅さから緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国の景気減速基調や英国の欧州連合（EU）離脱問題による先行き懸念、米国の新政権の政策動向など、先行き不透明な状況が続きました。

主力事業である不動産賃貸管理業界においては、首都圏の賃貸用不動産の供給過多により、空室率が増加するなど厳しい状況が続いております。

また、ホテル業界においても、訪日外国人観光客は増加しているものの、民泊やホテルの新設や増床などにより、競争は厳しさを増しております。

#### (4) 対処すべき課題

##### グループ経営管理の強化

当社の経営成績は、当社の事業構造上、グループ全体の業績による影響が大きいため、子会社を始めとした事業会社の経営状況の把握が重要な要素となっております。当社グループの経営管理を強化するため、グループ会社の事業執行権限の見直しと業務報告体制の整備・事業会社の管理体制の整備を行うことで、積極的な事業展開、コンプライアンス遵守の企業風土の確立及び効率的な経営管理を実践してまいります。

##### 経営資源の効率的な活用

当社グループの経営資源を有効に活用するために、各子会社間の連携強化とグループシナジー効果を発揮すべく、グループ幹部社員による情報交換・グループ情報の共有化・社員研修等を実施し、人材育成と投資資金の有効的な活用を推進してまいります。また、グループ間の資金管理の一元化等の検討及び営業情報の共有化による当社グループならではのネットワークを活用した営業展開を実践してまいります。

##### M & A 及び外部事業会社との連携強化

今後の当社グループ拡張のためには、当社の経営理念等に則った事業会社の買収又は投資を目的とした事業会社の経営等が必要であると考えます。そのため、当社の中長期的な方針として、積極的な企業買収・事業連携等による売上増進と収益の拡大を目指した経営を実践してまいります。

##### 内部統制・コンプライアンス体制の構築

会社法・金融商品取引法に基づいた内部統制の整備については、グループ会社を含めた業務プロセスにおけるフロー化・文書化・可視化によるルール整備を進めております。しかし、ルールの整備だけではなく、ルールに基づいた実態の運用が必要であり、そのための運用体制の整備と要員確保を行い、実務面に沿った内部管理、モニタリング実施及びIT統制を実践してまいります。

コンプライアンスにつきましては、当社グループの企業行動憲章・社員行動規範・個人情報保護方針・反社会的勢力に対する基本方針を公開・周知するとともに、運用面においてもモニタリングの実施、コンプライアンス委員会での検証及び社員研修による教育を実践してまいります。

### 4【事業等のリスク】

有価証券報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。

なお、文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

#### 経済環境

当社グループの事業は、様々な分野に展開しており、国内外の経済情勢の影響を直接および間接的に受けます。今後の経済情勢の動向によっては、当社グループの業績、財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

#### 新規事業展開のリスク

当社グループは慎重に検討を重ねた上、新規事業の展開を図っておりますが、当該事業を取り巻く環境の変化により、予定どおり事業展開が出来ない場合には、業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

#### 海外での事業活動

当社グループは、海外の事業活動において次に掲げるリスクが考えられ、これらの事象が発生した場合には、当社グループの業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

- イ．経済情勢や競合他社の活動状況
- ロ．予測しえない法律や規則の施行・制定、租税制度の変更
- ハ．テロ、デモ、戦争等による社会的混乱
- ニ．不利な政治的要因の発生
- ホ．通貨価値の変動、為替相場の変動

#### 個人情報

当社グループは、個人情報保護法により定められた個人情報の漏洩防止に努めるべく、個人情報の管理体制を整備しております。しかしながら、情報化社会における昨今の個人情報を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、予期せぬ事態により個人情報が漏洩した場合には、当社グループの社会的信用の低下や当該漏洩事件に対応するため発生する費用等により、当社グループの業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

#### 風評被害

当社グループは、過去の経営陣による杜撰な投融資・資本政策により、経営悪化・株価下落に陥った経緯があります。そのため、当時の社会的評価の失墜から来る誹謗・中傷を、未だインターネット上にてなされることがあり、当社グループ全体の健全な事業活動に支障を来し、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

#### 法的規制等に関するリスクについて

当社グループは、不動産賃貸管理事業につきまして、当社連結子会社である株式会社トラストアドバイザーズが不動産業者として、「宅地建物取引業法」及び「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」に基づく免許を受け、事業展開しており、当該法令の法的規制等を受けております。今後、これらの法令の改廃や新たな法的規制等が設けられる場合には、当社グループの事業活動が制限を受ける可能性があり、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

#### 食品の安全性について

当社グループは、食品関連事業につきまして、当社連結子会社である有限会社増田製麺が中華麺等の製造・販売を行っており、食品衛生法等の法規制の適用を受けております。当社グループでは品質管理、衛生管理を徹底し、食品の安全性には細心の注意を払っておりますが、不測の事態等により規制を遵守することが出来なかった場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

#### 新株予約権の行使による株式価値の希薄化について

当社は、士気向上・優秀な人材確保、及び資金調達を目的として、新株予約権を発行しております。本有価証券報告書の提出日現在、新株予約権の目的となる株式数は11,700千株であり、発行済株式総数88,730千株の13.2%に相当します。これらの新株予約権が行使された場合、発行済株式総数が増加し、1株当たりの株式価値が希薄化する可能性があります。

#### 自然災害等について

大規模な地震や台風等の自然災害の発生は、当社グループの所有する建物、施設等に損害を及ぼし、一時的な営業停止による売上減や修復のための費用負担が発生する可能性があります。また、新型インフルエンザ等の流行性疾患が発生した場合には、遠距離移動や団体行動の制限が予想され、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

### 5【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 6【研究開発活動】

当連結会計年度における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

## 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

### (1) 重要な会計方針及び見積り

当社グループの連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められている会計基準に基づき作成しております。その作成にあたっては、経営者による会計方針の選択・適用等、開示に影響を与える判断と見積りが必要になります。経営者はこれらの見積りについて、過去の実績等を勘案し、合理的に判断しておりますが、実際の結果は見積り特有の不確実性があるため、これらの見積りと異なる場合があります。

当社グループが採用しております重要な会計方針（「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1)連結財務諸表 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載）のうち、特に次の重要な会計方針が連結財務諸表作成における重要な見積りの判断に大きな影響を及ぼす事項であると考えております。

#### 固定資産の減損処理

当社グループが保有しております固定資産につきましては、四半期決算ごと及び帳簿価額が回収できないという事象や状況の変化が生じた場合には減損の検討を実施しております。帳簿価額が割引前将来見積キャッシュ・フローを上回っていた場合には、帳簿価額が割引前将来見積キャッシュ・フローを超過する金額について減損を認識しております。当社は、これらの見積りが合理的であると考えておりますが、実際の業績と異なる可能性があります。

#### のれんの減損処理

当社グループののれんの償却については、その効果の発現する期間を個別に見積り、20年以内の合理的な年数で定額法により償却を行っております。将来の予測不能な事業上の前提条件の変化によって見積りが変更されることにより、収益性が低下し、減損損失が発生する可能性があります。

### (2) 当連結会計年度の経営成績及び財政状態の分析

#### 経営成績

当連結会計年度における経営成績の概要につきましては、「1 業績等の概要」に記載のとおりであります。

#### 財政状態

##### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は2,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が117百万円、販売用不動産が93百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,740百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加しました。主な要因は、繰延税金資産が68百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ286百万円増加しました。

##### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は825百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円増加しました。主な要因は、短期借入金48百万円、前受収益が37百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は1,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少しました。主な要因は、長期借入金85百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,992百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加しました。

##### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、1,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ252百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益229百万円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、48.6%となりました。

#### キャッシュ・フローの分析

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの概要につきましては、「1 業績等の概要」に記載のとおりであります。

### (3) 経営成績に重要な影響を与える要因について

「4 事業等のリスク」に記載のとおりであります。

### 第3【設備の状況】

#### 1【設備投資等の概要】

当社グループでは、不動産賃貸管理事業において、賃貸管理システムの構築に12百万円、また、ホテル関連事業において、設備改修・更新工事に64百万円、客室改装に18百万円の投資を実施しました。

#### 2【主要な設備の状況】

当社グループにおける主要な設備は、次のとおりであります。

##### (1) 国内子会社

平成29年3月31日現在

| 会社名                      | 事業所名<br>(所在地)                | セグメント<br>の名称 | 設備の<br>内容 | 帳簿価額                |                           |                       |             |            | 従業員数<br>(人) |
|--------------------------|------------------------------|--------------|-----------|---------------------|---------------------------|-----------------------|-------------|------------|-------------|
|                          |                              |              |           | 建物及び<br>構築物<br>(千円) | 機械装置<br>及び運搬<br>具<br>(千円) | 土地<br>(千円)<br>(面積㎡)   | その他<br>(千円) | 合計<br>(千円) |             |
| (有)増田製麺                  | 本社工場<br>(神奈川県横須賀市)           | 食品関連         | 生産設備      | 15,097              | 5,189                     | 40,000<br>(221.36)    | 30          | 60,317     | 7<br>(10)   |
| (株)グローバル<br>ホールディング<br>ス | 成田ゲートウェイ<br>ホテル<br>(千葉県成田市)  | ホテル関連        | 宿泊施設      | 265,311             | -                         | 85,663<br>(7,218.48)  | 0           | 350,975    | -<br>(-)    |
| 成田ゲートウェイ<br>ホテル(株)       | 成田ゲートウェイ<br>ホテル<br>(千葉県成田市)  | ホテル関連        | 宿泊施設      | 55,099              | 3,898                     | -                     | 22,913      | 81,910     | 24<br>(23)  |
| (株)倉敷ロイヤル<br>アートホテル      | 倉敷ロイヤルアート<br>ホテル<br>(岡山県倉敷市) | ホテル関連        | 宿泊施設      | 544,814             | 529                       | 223,000<br>(1,490.90) | 7,269       | 775,612    | 46<br>(32)  |

(注) 1. 帳簿価額のうち「その他」は、工具、器具及び備品であります。

なお、金額には消費税等を含めておりません。

2. 従業員数の( )は、臨時雇用者数を外書しております。

#### 3【設備の新設、除却等の計画】

##### (1) 重要な設備の新設等

| 会社名<br>事業所名                 | 所在地            | セグメント<br>の名称 | 設備の内容             | 投資予定金額     |              | 資金調達<br>方法        | 着手及び完了予定年月       |                  | 完成後<br>の増加<br>能力 |
|-----------------------------|----------------|--------------|-------------------|------------|--------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|
|                             |                |              |                   | 総額<br>(千円) | 既支払額<br>(千円) |                   | 着手               | 完了               |                  |
| (株)倉敷ロ<br>イヤル<br>アートホ<br>テル | 岡山<br>県倉<br>敷市 | ホテル関<br>連    | 空調・給<br>湯システ<br>ム | 124,100    | -            | 自己資金<br>及び借入<br>金 | 平成29.6<br>平成30.1 | 平成29.6<br>平成30.2 | 注2               |

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 完成後の増加能力につきましては、その測定が困難なため、記載を省略しております。

##### (2) 重要な設備の除却等

該当事項はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 180,000,000 |
| 計    | 180,000,000 |

(注)平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会において、当社普通株式について10株を1株に併合する旨、及び株式併合の効力発生日である平成29年10月1日をもって、発行可能株式総数を180,000,000株から18,000,000株に変更する定款変更を行う旨承認可決されました。

##### 【発行済株式】

| 種類   | 事業年度末現在発行数(株)<br>(平成29年3月31日) | 提出日現在発行数(株)<br>(平成29年6月23日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容              |
|------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 88,870,896                    | 88,870,896                  | 東京証券取引所<br>JASDAQ<br>(スタンダード)      | 単元株式数<br>1,000株 |
| 計    | 88,870,896                    | 88,870,896                  | -                                  | -               |

(注)平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会において、株式併合の効力発生日である平成29年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更する定款変更を行う旨承認可決されました。

#### (2)【新株予約権等の状況】

会社法に基づき発行した新株予約権は、次のとおりであります。

平成25年5月14日取締役会決議

|                                        | 事業年度末現在<br>(平成29年3月31日)     | 提出日の前月末現在<br>(平成29年5月31日) |
|----------------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 新株予約権の数(個)                             | 250                         | 250                       |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数(個)                   | -                           | -                         |
| 新株予約権の目的となる株式の種類                       | 普通株式                        | 同左                        |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株)                     | 250,000(注)1                 | 250,000(注)1               |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円)                      | 28(注)2                      | 同左                        |
| 新株予約権の行使期間                             | 自平成25年5月29日<br>至平成33年5月28日  | 同左                        |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 28(注)3<br>資本組入額 14(注)3 | 同左                        |
| 新株予約権の行使の条件                            | (注)4                        | 同左                        |
| 新株予約権の譲渡に関する事項                         | 当社取締役会の承認を要するものとする。         | 同左                        |
| 代用払込みに関する事項                            | -                           | -                         |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項               | (注)5                        | 同左                        |

(注)1.当社が株式分割(当社普通株式の株式無償割当を含む。以下同じ。)又は株式併合を行う場合は、新株予約権の目的となる株式の数は次の算式により調整するものとする。

但し、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で権利行使又は消却されていない本新株予約権の目的となる株式の数についてのみ行い、調整の結果生じる1株未満の端数は切り捨てる。

$$\text{調整後株式数} = \text{調整前株式数} \times \text{分割・併合の比率}$$

また、上記のほか、割当日後、本新株予約権の目的となる株式の数の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときは、当社は合理的な範囲で適切に株式の数の調整を行うことができるものとする。

なお、調整の結果生じる1株未満の端数は切り捨てる。

(注) 2 . 新株予約権発行後、当社が株式分割または株式併合を行う場合、それぞれの効力発生の時をもって次の算式により払込金額を調整し、調整により生ずる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後払込金額} = \text{調整前払込金額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の比率}}$$

また、新株予約権発行後時価を下回る価額で新株の発行を行う場合は、次の算式により払込金額を調整し、調整により生ずる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後払込金額} = \text{調整前払込金額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times 1 \text{株当たり払込金額}}{1 \text{株当たり時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

(注) 3 . 増加する資本金及び資本準備金に関する事項

本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い計算される資本金等増加限度額（以下「資本金等増加限度額」という。）の2分の1の金額とする。計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。

本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記記載の資本金等増加限度額から、上記に定める増加する資本金の額を控除した額とする。

(注) 4 . 新株予約権の行使の条件は、以下のとおりであります。

割当日から行使期間の終期に至るまでの間に当社が上場する金融商品取引所における当社普通株式の普通取引の当日を含む直近5取引日の終値（気配表示を含む。）の平均値（終値のない日数を除く。但し、上記2に準じて取締役会により適切に調整されるものとする。）が一度でもその時点の行使価額の50%（但し、上記2に準じて取締役会により適切に調整されるものとする。）を下回った場合、新株予約権者は残存するすべての本新株予約権を行使価額（但し、上記2に準じて取締役会により適切に調整されるものとする。）で行使期間の終期までに権利行使しなければならないものとする。但し、次に掲げる場合に該当するときはこの限りではない。

- (a) 当社の開示情報に重大な虚偽が含まれることが判明した場合。
- (b) 当社が法令や当社が上場する金融商品取引所の規則に従って開示すべき重要な事実を適正に開示していなかったことが判明した場合。
- (c) 当社が上場廃止となったり、倒産したり、その他本新株予約権発行日において前提とされていた事情に大きな変更が生じた場合。
- (d) その他、当社が本新株予約権者の信頼を害すると客観的に認められる行為が生じた場合。

本新株予約権の行使によって、当社の発行済株式総数が当該時点における授權株式総数を超過することとなるときは、当該本新株予約権の行使を行うことはできない。

各本新株予約権の1個当たりの一部行使はできない。

本新株予約権者の相続人による本新株予約権の行使は認めないものとする。

前各号の他、本新株予約権の行使の条件は、当社取締役会において定める。

(注) 5 . 当社が吸収合併消滅会社となる吸収合併、新設合併消滅会社となる新設合併、吸収分割会社となる吸収分割、新設分割会社となる新設分割、株式交換完全子会社となる株式交換、又は株式移転完全子会社となる株式移転（以下「組織再編行為」と総称する。）を行う場合は、当該組織再編行為の効力発生日の直前において残存する本新株予約権に代わり、それぞれ吸収合併存続会社、新設合併設立会社、吸収分割承継会社、新設分割設立会社、株式交換完全親会社又は株式移転設立完全親会社（以下「再編当事会社」と総称する。）は以下の条件に基づき本新株予約権にかかる新株予約権者に新たに新株予約権を交付するものとする。

新たに交付される新株予約権の数

新株予約権者が有する本新株予約権の数をもとに、組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1個未満の端数は切り捨てる。

新たに交付される新株予約権の目的となる株式の種類

再編当事会社の同種の株式

新たに交付される新株予約権の目的となる株式の数の算定方法

組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1株未満の端数は切り上げる。

新たに交付される新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1円未満の端数は切り上げる。

新たに交付される新株予約権にかかる行使期間、当該新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金、再編当事会社による当該新株予約権の取得事由、組織再編行為の場合の新株予約権の交付、新株予約権証券及び行使の条件

組織再編行為に際して決定する。



新たに交付される新株予約権の譲渡による取得の制限  
新たに交付される新株予約権の譲渡による取得については、再編当事会社の取締役会の承認を要する。  
その他の条件については、再編対象会社の条件に準じて決定する。

平成26年10月17日取締役会決議

|                                        | 事業年度末現在<br>(平成29年3月31日)     | 提出日の前月末現在<br>(平成29年5月31日) |
|----------------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 新株予約権の数(個)                             | 71                          | 71                        |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数(個)                   | -                           | -                         |
| 新株予約権の目的となる株式の種類                       | 普通株式                        | 同左                        |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株)                     | 7,100,000(注)1               | 7,100,000(注)1             |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円)                      | 92(注)2                      | 同左                        |
| 新株予約権の行使期間                             | 自平成26年11月5日<br>至平成29年11月4日  | 同左                        |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 92(注)3<br>資本組入額 46(注)3 | 同左                        |
| 新株予約権の行使の条件                            | (注)4                        | 同左                        |
| 新株予約権の譲渡に関する事項                         | 当社取締役会の承認を要するものとする。         | 同左                        |
| 代用払込みに関する事項                            | -                           | -                         |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項               | (注)5                        | 同左                        |

(注)1. 本新株予約権の目的である株式の数

本新株予約権1個当たりの目的たる株式の数(以下「割当株式数」という。)は当社普通株式100,000株とする。但し、及びにより割当株式数が調整される場合には、本新株予約権の目的である株式の総数は調整後割当株式数に応じて調整されるものとする。

当社が下記2に従って行使価額の調整を行う場合には、割当株式数は次の算式により調整される。但し、当該調整は当該時点において未行使の本新株予約権に係る割当株式数についてのみ行われ、調整の結果生じる1株未満の端数は切り捨てる。なお、当該算式における調整前行使価額及び調整後行使価額は、下記2に定める調整前行使価額及び調整後行使価額とする。

$$\text{調整後払込金額} = \frac{\text{調整前割当株式数} \times \text{調整前行使価額}}{\text{調整後行使価額}}$$

調整後割当株式数の適用日は、当該調整事由に係る下記2及びによる行使価額の調整に関し、各号に定める調整後行使価額を適用する日と同日とする。

割当株式数の調整を行うときは、当社は、調整後割当株式数の運用開始日の前日までに、本新株予約権者に対し、当該調整を行う旨及びその事由、調整前割当株式数、調整後割当株式数並びにその適用開始日その他必要な事項を書面で通知する。但し、下記2(e)に定める場合、その他適用開始日の前日までに上記通知を行うことができない場合には、適用開始日以降速やかにこれを行う。

(注)2. 行使価額の調整

当社は、本新株予約権の割当日後、に掲げる各事由により当社の発行済普通株式数に変更を生じる場合又は変更を生じる可能性がある場合には、次に定める算式(以下「行使価額調整式」という。)をもって行使価額を調整する。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{交付株式数} \times 1 \text{株当たり払込金額}}{1 \text{株当たりの時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{交付株式数}}$$

行使価額調整式により行使価額の調整を行う場合及び調整後行使価額の適用時期については、次に定めるところによる。

(a) (b)に定める時価を下回る払込金額をもって当社普通株式を交付する場合(無償割当による場合を含む。)(但し、新株予約権(新株予約権付社債に付されたものを含む。)の行使、取得請求権付株式又は取得条項付株式の取得、その他当社普通株式の交付を請求できる権利の行使によって当社普通株式を交付する場合、及び会社分割、株式交換又は合併により当社普通株式を交付する場合を除く。)

調整後行使価額は、払込期日（募集に際して払込期間を定めた場合はその最終日とし、無償割当の場合はその効力発生日とする。）以降、又は当該交付につき株主に割当を受ける権利を与えるための基準日がある場合はその日の翌日以降これを適用する。

- (b) 当社普通株式について株式の分割をする場合

調整後行使価額は、株式の分割のための基準日の翌日以降これを適用する。

- (c) (b)に定める時価を下回る払込金額をもって当社普通株式を交付する定めのある取得請求権付株式又は

(b)に定める時価を下回る払込金額をもって当社普通株式の交付を請求できる新株予約権（新株予約権付社債に付されたものを含む。）を発行又は付与する場合（但し、当社又はその関係会社の取締役その他の役員又は使用人に新株予約権を割り当てる場合を除く。）、調整後行使価額は、取得請求権付株式の全部に係る取得請求権又は新株予約権の全部が当初の条件で行使されたものとみなして行使価額調整式を適用して算出するものとし、払込期日（新株予約権の場合は割当日）以降又は（無償割当の場合は）効力発生日以降これを適用する。但し、株主に割り当てを受ける権利を与えるための基準日がある場合には、その日の翌日以降これを適用する。

- (d) 当社の発行した取得条項付株式又は取得条項付新株予約権（新株予約権付社債に付されたものを含む。）の取得と引換えに (b)に定める時価を下回る価額をもって当社普通株式を交付する場合

調整後行使価額は、取得日の翌日以降これを適用する。

- (e) (a)から(d)までの各取引において、株主に割り当てを受ける権利を与えるための基準日が設定され、かつ各取引の効力の発生が当該基準日以降の株主総会又は取締役会その他当社の機関の承認を条件としているときには (a)から(d)にかかわらず、調整後転換価額は、当該承認があった日の翌日以降、これを適用する。

この場合において当該基準日の翌日から当該取引の承認があった日までに、本新株予約権を行使した本新株予約権の新株予約権者に対しては、次の算出方法により、当社普通株式を交付するものとする。

$$\text{株式数} = \frac{\text{調整前行使価額} - \text{調整後行使価額}}{\text{調整後行使価額}} \times \frac{\text{調整前行使価額により 当該期間内に交付された株式数}}{\text{調整後行使価額}}$$

この場合、1株未満の端数が生じたときはこれを切り捨て、現金による調整は行わない。

行使価額調整式により算出された調整後行使価額と調整前行使価額の差が1円未満にとどまる場合は、行使価額の調整は行わない。但し、その後行使価額の調整を必要とする事由が発生し、行使価額を調整する場合には、行使価額調整式中の調整前行使価額に代えて調整前行使価額からこの差額を引いた額を使用する。

その他

- (a) 行使価額調整式の計算については、円位未満小数第2位まで算出し、小数第2位を四捨五入する。  
 (b) 行使価額調整式で使用する時価は、調整後行使価額が初めて適用される日（但し、(e)の場合は基準日）に先立つ45取引日目に始まる30取引日の取引所における当社普通株式の普通取引の終値の平均値（終値のない日数を除く。）とする。この場合、平均値の計算は、円位未満小数第2位まで算出し、小数第2位を四捨五入する。  
 (c) 行使価額調整式で使用する既発行株式数は、株主に割り当てを受ける権利を与えるための基準日がある場合はその日、また、当該基準日がない場合は、調整後行使価額を初めて適用する日の1ヶ月前の日における当社の発行済普通株式の総数から、当該日において当社の有する当社普通株式を控除した数とする。また (e)の場合には、行使価額調整式で使用する交付株式数は、基準日において当社が有する当社普通株式に割り当てられる当社の普通株式数を含まないものとする。

の行使価額の調整を必要とする場合以外にも、次に掲げる場合には、当社は、必要な行使価額の調整を行う。

- (a) 株式の併合、資本金の額の減少、会社分割、株式交換又は合併のために行使価額の調整を必要とするとき。  
 (b) その他当社の発行済普通株式数の変更又は変更の可能性が生じる事由の発生により行使価額の調整を必要とするとき。  
 (c) 行使価額を調整すべき複数の事由が相接して発生し、一方の事由に基づく調整後行使価額の算出にあたり使用すべき時価につき、他方の事由による影響を考慮する必要があるとき。

行使価額の調整を行うときは、当社は、調整後行使価額の適用開始日の前日までに、本新株予約権者に対し、当該調整を行う旨並びにその事由、調整前行使価額、調整後行使価額及びその適用開始日その他必要な事項を書面で通知する。但し、(e)に定める場合、その他適用開始日の前日までに上記通知を行うことができない場合には、適用開始日以降速やかにこれを行う。

(注) 3 . 本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金

本新株予約権の行使により当社普通株式を発行する場合において増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項の規定に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし(計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とする。)、当該資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額を増加する資本準備金の額とする。

(注) 4 . その他の本新株予約権の行使条件

本新株予約権の行使によって、当社の発行済株式数が当該時点における授權株式数を超過することとなるときは、当該新株予約権の行使を行うことはできない。また、本新株予約権の一部行使はできない。

(注) 5 . 合併、会社分割、株式交換及び株式移転の場合の新株予約権の交付

当社が吸収合併消滅会社となる吸収合併、新設合併消滅会社となる新設合併、吸収分割会社となる吸収分割、新設分割会社となる新設分割、株式交換完全子会社となる株式交換、又は株式移転完全子会社となる株式移転(以下「組織再編行為」と総称する。)を行う場合は、当該組織再編行為の効力発生日の直前において残存する本新株予約権に代わり、それぞれ吸収合併存続会社、新設合併設立会社、吸収分割承継会社、新設分割設立会社、株式交換完全親会社又は株式移転設立完全親会社(以下「再編当事会社」と総称する。)は以下の条件に基づき本新株予約権に係る新株予約権者に新たに新株予約権を交付するものとする。

新たに交付される新株予約権の数

新株予約権者が有する本新株予約権の数をもとに、組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1個未満の端数は切り捨てる。

新たに交付される新株予約権の目的たる株式の種類

再編当事会社の同種の株式

新たに交付される新株予約権の目的たる株式の数の算定方法

組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1株未満の端数は切り上げる。

新たに交付される新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1円未満の端数は切り上げる。

新たに交付される新株予約権に係る行使期間、当該新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金、再編当事会社による当該新株予約権の取得事由、組織再編行為の場合の新株予約権の交付、新株予約権証券及び行使の条件

組織再編行為に際して決定する。

新たに交付される新株予約権の譲渡による取得の制限

新たに交付される新株予約権の譲渡による取得については、再編当事会社の取締役会の承認を要する。

平成27年9月18日取締役会決議

|                                        | 事業年度末現在<br>(平成29年3月31日)       | 提出日の前月末現在<br>(平成29年5月31日) |
|----------------------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 新株予約権の数(個)                             | 4,350                         | 4,350                     |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数(個)                   | -                             | -                         |
| 新株予約権の目的となる株式の種類                       | 普通株式                          | 同左                        |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株)                     | 4,350,000(注)1                 | 4,350,000(注)1             |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円)                      | 67(注)2                        | 同左                        |
| 新株予約権の行使期間                             | 自平成28年7月1日<br>至平成35年10月4日     | 同左                        |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 67(注)3<br>資本組入額 33.5(注)3 | 同左                        |
| 新株予約権の行使の条件                            | (注)4                          | 同左                        |
| 新株予約権の譲渡に関する事項                         | 当社取締役会の承認を要するものとする。           | 同左                        |
| 代用払込みに関する事項                            | -                             | -                         |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項               | (注)5                          | 同左                        |

(注) 1. 新株予約権の目的となる株式の種類、内容及び数

本新株予約権 1 個当たりの目的である株式の数（以下「付与株式数」という。）は、当社普通株式1,000株とする。

なお、付与株式数は、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割（当社普通株式の株式無償割当を含む。以下同じ。）または株式併合を行う場合、次の算式により調整する。但し、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で権利行使または消却されていない本新株予約権の目的である株式の数についてのみ行い、調整の結果生じる 1 株未満の端数は切り捨てる。

$$\text{調整後付与株式数} = \text{調整前付与株式数} \times \text{分割（または併合）の比率}$$

また、上記のほか、本新株予約権の割当日後、本新株予約権の目的である株式の数の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときには、当社は合理的な範囲で付与株式数を適切に調整することができる。

なお、上記の結果生じる 1 株未満の端数は切り捨てる。

(注) 2. 行使価額の調整

当社が株式分割または株式併合を行う場合は、次の算式により行使価額を調整し、調整の結果生じる 1 円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割（または併合）の比率}}$$

また、本新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式につき時価を下回る価額で新株の発行または自己株式の処分を行う場合（新株予約権の行使に基づく新株の発行及び自己株式の処分並びに株式交換による自己株式の移転の場合を除く。）は、次の算式により行使価額を調整し、調整の結果生じる 1 円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times \text{1株当たり払込金額}}{\text{新規発行前の1株当たりの時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

なお、上記算式に使用する「既発行株式数」とは、当社普通株式にかかる発行済株式総数から当社普通株式にかかる自己株式数を控除した数とし、また、当社普通株式にかかる自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に読み替えるものとする。

さらに、上記のほか、本新株予約権の割当日後、当社が他社と合併する場合、会社分割を行う場合、その他これらの場合に準じて行使価額の調整を必要とする場合には、当社は、合理的な範囲で適切に行使価額の調整を行うことができるものとする。

(注) 3. 新株予約権の行使により株式を発行する場合の当該株式の発行価格のうちの資本組入額

本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の 2 分の 1 の金額とする。計算の結果 1 円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。

本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記記載の資本金等増加限度額から、上記に定める増加する資本金の額を減じた額とする。

(注) 4. 新株予約権の行使の条件

本新株予約権の割り当てを受けた者（以下「新株予約権者」という。）は、当社が掲げる業績目標に準じて設定された営業利益について、下記(a)から(c)の条件を達成した場合にのみ、新株予約権者に割り当てられた本新株予約権のうち、それぞれ定められた割合の個数を行使期間において行使することができる。また、営業利益の判定においては、当社の平成28年3月期から平成35年3月期の有価証券報告書に記載される連結損益計算書の数値を参照するものとし、適用される会計基準の変更等により参照すべき営業利益の概念に重要な変更があった場合には、当社は合理的な範囲内において、別途参照すべき適正な指標を取締役に定めるものとする。なお、行使可能な新株予約権の数に 1 個未満の端数が生じる場合は、これを切り捨てた数とする。

- (a) 下記 の強制行使条件発動時を除き、営業利益が1.3億円を超過した場合  
行使可能割合 30%
- (b) 下記 の強制行使条件発動時を除き、営業利益が1.5億円を超過した場合  
行使可能割合 60%
- (c) 下記 の強制行使条件発動時を除き、営業利益が2.0億円を超過した場合  
行使可能割合 100%

割当日から行使期間の満了日に至るまでの間に当社が上場する金融商品取引所における当社普通株式の普通取引の当日を含む直近 5 取引日の終値（気配表示を含む。）の平均値（終値のない日数を除く。但し、

(注)2に準じて取締役会により適切に調節されるものとする。)が一度でもその時点の行使価額の30%(但し、(注)2に準じて取締役会により適切に調節されるものとする。)を下回った場合、新株予約権者は残存するすべての本新株予約権を行使価額(但し、(注)2に準じて取締役会により適切に調節されるものとする。)で行使期間の満了日までに権利行使しなければならないものとする。但し、次に掲げる場合に該当するときはこの限りではない。

- (a) 当社の開示情報に重大な虚偽が含まれることが判明した場合。
- (b) 当社が法令や当社が上場する金融商品取引所の規則に従って開示すべき重要な事実を適正に開示していなかったことが判明した場合。
- (c) 当社が上場廃止となったり、倒産したり、その他本新株予約権発行日において前提とされていた事情に大きな変更が生じた場合。
- (d) その他、当社が新株予約権者の信頼を害すると客観的に認められる行為が生じた場合。

本新株予約権の行使によって、当社の発行済株式総数が当該時点における授權株式総数を超過することとなるときは、当該本新株予約権の行使を行うことはできない。

各本新株予約権の一部行使はできない。

新株予約権者の相続人による本新株予約権の行使は認めないものとする。

#### (注)5. 組織再編行為の際の新株予約権の取扱い

当社が吸収合併消滅会社となる吸収合併、新設合併消滅会社となる新設合併、吸収分割会社となる吸収分割、新設分割会社となる新設分割、株式交換完全子会社となる株式交換、または株式移転完全子会社となる株式移転(以下「組織再編行為」と総称する。)を行う場合は、当該組織再編行為の効力発生日の直前において残存する本新株予約権に代わり、それぞれ吸収合併存続会社、新設合併設立会社、吸収分割承継会社、新設分割設立会社、株式交換完全親会社または株式移転設立完全親会社(以下「再編対象会社」と総称する。)は以下の条件に基づき本新株予約権にかかる新株予約権者に新たに新株予約権を交付するものとする。

交付する再編対象会社の新株予約権の数

新株予約権者が有する本新株予約権の数をもとに、組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1個未満の端数は切り捨てる。

新株予約権の目的である再編対象会社の株式の種類

再編対象会社の同種の株式

新株予約権の目的である再編対象会社の株式の数の算定方法

組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1株未満の端数は切り上げる。

新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

組織再編行為の条件等を勘案して合理的に調整する。調整後の1円未満の端数は切り上げる。

新株予約権にかかる行使期間、当該新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金、再編対象会社による当該新株予約権の取得事由、組織再編行為の場合の新株予約権の交付、新株予約権証券及び行使の条件

組織再編行為に際して決定する。

新株予約権の譲渡による取得の制限

新たに交付される新株予約権の譲渡による取得については、再編対象会社の取締役会の承認を要する。

その他の条件については、再編対象会社の条件に準じて決定する。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                              | 発行済株式総数<br>増減数(株) | 発行済株式総<br>数残高(株) | 資本金増減額<br>(千円) | 資本金残高<br>(千円) | 資本準備金増<br>減額(千円) | 資本準備金残<br>高(千円) |
|----------------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成25年3月15日<br>(注)1               | 6,000,000         | 80,330,896       | 57,000         | 1,371,406     | 57,000           | 57,000          |
| 平成25年4月1日～<br>平成26年3月31日<br>(注)2 | 3,225,000         | 83,555,896       | 32,015         | 1,403,421     | 32,015           | 89,015          |
| 平成26年11月4日<br>(注)3               | 2,200,000         | 86,180,896       | 101,200        | 1,510,609     | 101,200          | 196,203         |
| 平成26年4月1日～<br>平成27年3月31日<br>(注)2 | 2,975,000         | 88,730,896       | 74,052         | 1,578,674     | 74,052           | 264,268         |
| 平成28年4月1日～<br>平成29年3月31日<br>(注)2 | 140,000           | 88,870,896       | 3,742          | 1,582,416     | 3,742            | 268,010         |

- (注)1. 有償第三者割当 割当先 早川 良一  
発行価格 19円  
資本組入額 9.5円
2. 新株予約権の行使による増加であります。
3. 有償第三者割当 割当先 早川 良一、福光 一七、香港德威企業集團控股有限公司  
発行価格 92円  
資本組入額 46.0円
4. 平成29年6月22日開催の定時株主総会において、資本準備金を173,267千円減少し、欠損てん補することを決議しております。

(6) 【所有者別状況】

平成29年3月31日現在

| 区分          | 株式の状況(1単元の株式数1,000株) |       |              |            |       |      |        |        | 単元未満株<br>式の状況<br>(株) |
|-------------|----------------------|-------|--------------|------------|-------|------|--------|--------|----------------------|
|             | 政府及び地<br>方公共団体       | 金融機関  | 金融商品取<br>引業者 | その他の<br>法人 | 外国法人等 |      | 個人その他  | 計      |                      |
|             |                      |       |              |            | 個人以外  | 個人   |        |        |                      |
| 株主数(人)      | -                    | 1     | 38           | 29         | 22    | 17   | 5,335  | 5,442  | -                    |
| 所有株式数(単元)   | -                    | 2,358 | 2,768        | 17,743     | 2,267 | 544  | 63,137 | 88,817 | 53,896               |
| 所有株式数の割合(%) | -                    | 2.65  | 3.12         | 19.98      | 2.55  | 0.61 | 71.09  | 100.00 | -                    |

- (注)1. 自己株式26,098株は、「個人その他」に26単元及び「単元未満株式の状況」に98株を含めて記載しております。
2. 上記「その他の法人」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、1単元含まれております。

(7) 【大株主の状況】

平成29年3月31日現在

| 氏名又は名称           | 住所                 | 所有株式数<br>(千株) | 発行済株式総<br>数に対する所<br>有株式数の割<br>合(%) |
|------------------|--------------------|---------------|------------------------------------|
| 新興支援投資事業有限責任組合   | 東京都千代田区神田須田町2-8    | 15,297        | 17.21                              |
| 早川 良一            | 長野県北佐久郡            | 4,839         | 5.45                               |
| 日本証券金融株式会社       | 東京都中央区日本橋茅場町1-2-10 | 2,358         | 2.65                               |
| 株式会社ジャパンシルバークリース | 大阪府大阪市西区南堀江1-21-4  | 1,406         | 1.58                               |
| 福光 一七            | 大阪府大阪市西成区          | 1,300         | 1.46                               |
| マネックス証券株式会社      | 東京都港区赤崎1-12-32     | 1,002         | 1.13                               |
| 山本 文雄            | 福井県坂井市             | 701           | 0.79                               |
| 仲谷 憲一郎           | 静岡県沼津市             | 700           | 0.79                               |
| 森川 いくよ           | 大阪府門真市             | 690           | 0.78                               |
| 小澤 幸二            | 福岡県直方市             | 625           | 0.70                               |
| 計                | -                  | 28,918        | 32.54                              |

( 8 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年3月31日現在

| 区分             | 株式数(株)          | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式         | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式(自己株式等) | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式(その他)   | -               | -        | -  |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 26,000     | -        | -  |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 88,791,000 | 88,791   | -  |
| 単元未満株式         | 普通株式 53,896     | -        | -  |
| 発行済株式総数        | 88,870,896      | -        | -  |
| 総株主の議決権        | -               | 88,791   | -  |

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)が含まれております。

【自己株式等】

平成29年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称  | 所有者の住所        | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|-------------|---------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社ストライダーズ | 東京都港区新橋5-13-5 | 26,000       | -            | 26,000      | 0.03                   |
| 計           | -             | 26,000       | -            | 26,000      | 0.03                   |

( 9 ) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 普通株式

( 1 ) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

( 2 ) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

( 3 ) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

該当事項はありません。

( 4 ) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

| 区分                          | 当事業年度  |            | 当期間    |            |
|-----------------------------|--------|------------|--------|------------|
|                             | 株式数(株) | 処分価額の総額(円) | 株式数(株) | 処分価額の総額(円) |
| 引き受ける者の募集を行った取得自己株式         | -      | -          | -      | -          |
| 消却の処分を行った取得自己株式             | -      | -          | -      | -          |
| 合併、株式交換、会社分割に係る移転を行った取得自己株式 | -      | -          | -      | -          |
| その他<br>( - )                | -      | -          | -      | -          |
| 保有自己株式数                     | 26,098 | -          | 26,098 | -          |

### 3【配当政策】

当社は、早期の復配を経営の最優先課題のひとつと位置付け、業績向上と安定のための経営上の諸施策を実施してまいります。配当につきましては、業績、経営環境及び中長期的な事業強化のための内部留保も考慮し、総合的見地から決定する所存です。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

また、当社は、「取締役会の決議により、毎年9月30日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。

### 4【株価の推移】

#### (1)【最近5年間の事業年度別最高・最低株価】

| 回次    | 第49期    | 第50期    | 第51期    | 第52期    | 第53期    |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 決算年月  | 平成25年3月 | 平成26年3月 | 平成27年3月 | 平成28年3月 | 平成29年3月 |
| 最高(円) | 33      | 94      | 134     | 106     | 91      |
| 最低(円) | 14      | 19      | 47      | 56      | 45      |

(注) 最高・最低株価は、平成25年7月16日より東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)におけるものであり、それ以前は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)におけるものであります。

#### (2)【最近6月間の月別最高・最低株価】

| 月別    | 平成28年10月 | 11月 | 12月 | 平成29年1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----------|-----|-----|---------|----|----|
| 最高(円) | 80       | 87  | 91  | 87      | 86 | 76 |
| 最低(円) | 69       | 65  | 71  | 73      | 71 | 67 |

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)におけるものであります。



5【役員の状況】

男性 8名 女性 -名 (役員のうち女性の比率-%)

| 役名               | 職名    | 氏名    | 生年月日        | 略歴                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 任期   | 所有株式数<br>(千株) |
|------------------|-------|-------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|
| 取締役社長<br>(代表取締役) | C E O | 早川 良一 | 昭和30年1月9日生  | 昭和52年4月 株式会社日本長期信用銀行(現株式会社<br>新生銀行)入行<br>平成7年9月 同行アジア部参事役<br>平成10年11月 日本コンピュータシステム株式会社<br>経営企画室長<br>平成19年2月 当社 取締役<br>平成19年4月 株式会社ブイ・エル・アール(現M&A<br>グローバル・パートナーズ株式会社)<br>代表取締役(現任)<br>平成21年2月 株式会社トラストアドバイザーズ<br>取締役(現任)<br>平成21年6月 当社 代表取締役(現任)<br>平成24年3月 モバイルリンク株式会社 取締役<br>(現任)<br>平成24年5月 有限会社増田製麺 取締役(現任)<br>平成24年12月 株式会社グローバルホールディングス<br>代表取締役(現任)<br>平成25年3月 成田ゲートウェイホテル株式会社<br>代表取締役(現任)<br>平成26年6月 株式会社倉敷ロイヤルアートホテル<br>代表取締役(現任) | (注)3 | 4,839         |
| 常務取締役            | C F O | 若原 義之 | 昭和51年2月13日生 | 平成11年4月 富士通株式会社入社<br>平成13年7月 フューチャーシステムコンサルティング<br>株式会社(現フューチャーアーキテクト<br>株式会社)入社<br>平成19年3月 監査法人トーマツ(現有限責任監査法人<br>トーマツ)入所<br>平成23年10月 公認会計士登録<br>平成23年11月 株式会社ベイカレント・コンサルティン<br>グ入社<br>平成24年2月 当社入社<br>平成26年10月 管理本部長<br>平成27年3月 新光行動聯網股份有限公司 監査役(現<br>任)<br>平成27年6月 当社 常務取締役兼C F O(現任)                                                                                                                                                     | (注)3 | 1             |

| 役名  | 職名     | 氏名     | 生年月日         | 略歴                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 任期   | 所有株式数<br>(千株) |
|-----|--------|--------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|
| 取締役 |        | 宮村 幸一  | 昭和51年12月21日生 | 平成11年4月 ユトー株式会社入社<br>平成11年8月 正興産業株式会社入社<br>平成17年1月 株式会社S-fit入社<br>平成17年4月 株式会社エスグラントコーポレーション入社<br>平成20年12月 株式会社エスグラント・アドバイザーズ(現株式会社トラストアドバイザーズ) 取締役<br>平成24年6月 当社 取締役(現任)<br>平成26年3月 株式会社東京アパートメント保証 代表取締役(現任)<br>平成26年6月 株式会社トラストアドバイザーズ 代表取締役(現任)                                                          | (注)3 | 10            |
| 取締役 | 事業企画部長 | 早川 良太郎 | 昭和58年6月22日生  | 平成20年4月 オリックス株式会社入社<br>平成26年6月 当社 取締役経営企画部長<br>平成26年10月 モバイルリンク株式会社 取締役(現任)<br>平成26年10月 株式会社倉敷ロイヤルアートホテル 取締役(現任)<br>平成27年3月 新光行動聯網股份有限公司 取締役(現任)<br>平成28年4月 当社 取締役事業企画部長(現任)<br>平成28年6月 株式会社トラストアドバイザーズ 取締役(現任)                                                                                              | (注)3 | 41            |
| 取締役 |        | 鈴木 泰   | 昭和38年2月24日生  | 昭和61年4月 株式会社日本長期信用銀行(現株式会社新生銀行) 入行<br>平成7年7月 同行インドネシア現地法人 営業部長<br>平成8年11月 同行シンガポール支店 支店長代理<br>平成11年8月 同行ニューヨーク支店 次長<br>平成12年3月 社会基盤研究所(ロンドン駐在) 主任研究員<br>平成13年6月 英国アントファクトリー社 アドバイザー<br>平成14年3月 金沢工業大学 経営情報工学科 助教授<br>平成16年4月 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋マネジメント学部 助教授<br>平成20年4月 同校国際経営学部 教授(現任)<br>平成27年6月 当社 取締役(現任) | (注)3 | 6             |

| 役名    | 職名 | 氏名    | 生年月日         | 略歴                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 任期   | 所有株式数<br>(千株) |
|-------|----|-------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|
| 常勤監査役 |    | 吉澤 生雄 | 昭和27年1月28日生  | 昭和51年4月 国際電信電話株式会社(現KDDI株式会社)入社<br>平成4年3月 同社営業本部担当部長<br>平成12年9月 株式会社KDD総研(現株式会社KDDI総研)取締役調査部長<br>平成16年4月 財団法人国際通信経済研究所に出向<br>平成19年4月 財団法人KDDIエンジニアリング・アンド・コンサルティングに出向<br>平成20年4月 特定非営利活動法人ITS Japanに出向<br>平成24年6月 当社 常勤監査役(現任)<br>平成25年1月 モバイルリンク株式会社 監査役(現任)<br>平成26年6月 株式会社倉敷ロイヤルアートホテル 監査役(現任)<br>平成26年10月 株式会社トラストアドバイザーズ 監査役(現任)<br>平成26年10月 有限会社増田製麺 監査役(現任)<br>株式会社グローバルホールディングス 監査役(現任)<br>平成26年10月 成田ゲートウェイホテル株式会社 監査役(現任)<br>平成27年6月 M&Aグローバル・パートナーズ株式会社 監査役(現任)<br>平成28年3月 株式会社東京アパートメント保証 監査役(現任) | (注)4 | 312           |
| 監査役   |    | 小林 伸行 | 昭和25年3月22日生  | 昭和52年5月 公認会計士登録<br>昭和58年1月 監査法人中央会計事務所(のちにみすず監査法人に改称)入所<br>平成60年3月 株式会社オムテック 監査役(現任)<br>昭和60年7月 監査法人中央会計事務所(のちにみすず監査法人に改称)社員<br>昭和63年7月 同法人代表社員<br>平成12年10月 同法人業務管理本部審査部長<br>平成18年9月 東陽監査法人入所 審理室<br>平成19年6月 当社 監査役(現任)<br>平成20年1月 東陽監査法人 代表社員(現任)<br>平成26年8月 同法人理事長(現任)                                                                                                                                                                                                                                      | (注)4 | -             |
| 監査役   |    | 國吉 歩  | 昭和47年10月22日生 | 平成12年10月 弁護士登録<br>平成12年10月 法律事務所あすか入所<br>平成18年6月 当社 監査役(現任)<br>平成22年12月 フォレストウォーク法律事務所設立 代表(現任)<br>平成27年12月 株式会社シンシア 取締役(現任)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | (注)4 | 256           |
| 計     |    |       |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      | 5,465         |

- (注) 1. 取締役 鈴木泰は社外取締役であります。  
2. 監査役 吉澤生雄、小林伸行及び國吉歩は、社外監査役であります。  
3. 平成29年6月22日開催の定時株主総会の終結の時から2年間  
4. 平成27年6月24日開催の定時株主総会の終結の時から4年間  
5. 取締役 早川良太郎は、当社代表取締役社長 早川良一の長男であります。

## 6【コーポレート・ガバナンスの状況等】

### (1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

#### (コーポレート・ガバナンスに対する基本的な考え方)

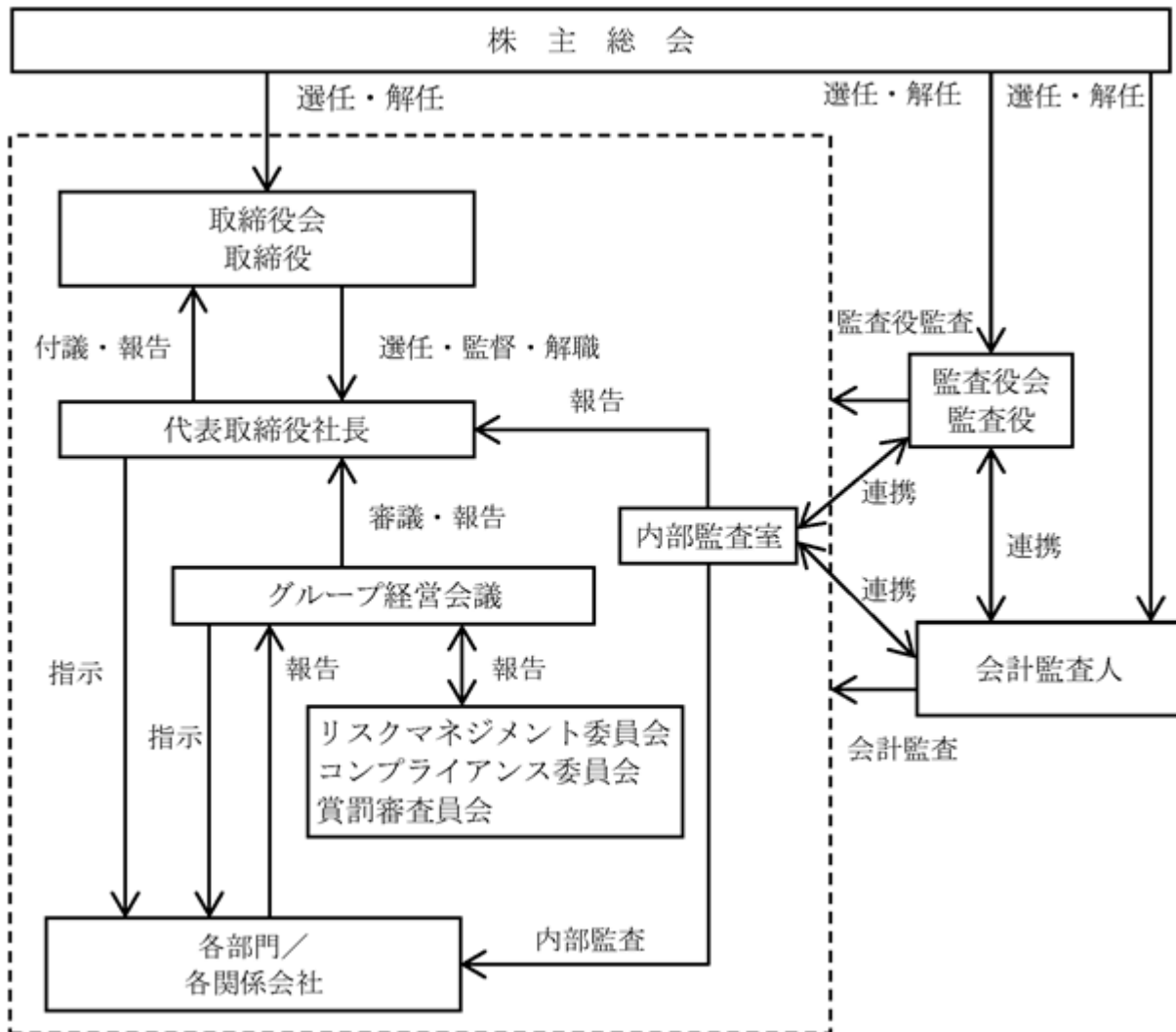
当社グループは、企業を取り巻く関係者との利害関係を調整しつつ、株主の利益を擁護し、企業価値を最大化することが重要であると考えております。そのため、コーポレート・ガバナンス体制の構築とその更なる強化を経営課題と認識し、経営執行の過程において、取締役会の合議機能、監査役の監視機能、あるいは社内の業務分掌機能等を通じて、経営を客観的にチェックし、その透明性を確保し、経営の健全性・公平性につなげていきたいと考えております。

#### 企業統治の体制

##### イ．企業統治の体制の概要

当社は監査役設置会社であり、会社の機関は、経営方針等の重要事項に関する意思決定機関及び監督機関として取締役会を、監査機関として監査役会を設置しております。

当社の企業統治の体制の模式図は、次のとおりであります。



ロ．当該体制を採用する理由

当社は、適切な経営判断を迅速に行うと同時に、高い経営の透明性と強い経営監視機能を発揮するコーポレート・ガバナンス体制は、外部からの客観的かつ中立の経営監視の機能が重要と考えております。当社としては、社外取締役を含む取締役会と社外監査役による業務執行を監督・監査する当該体制が最適であると判断して採用しております。

ハ．その他の企業統治に関する事項

・内部統制システムの整備の状況

当社の内部統制システムの基礎として、代表取締役は内部統制システムの構築・維持・向上を推進するとともに、その執行組織として内部監査担当及び法務・コンプライアンス担当を任命し、コンプライアンス体制の整備及び維持を図っております。

・リスク管理体制の整備の状況

当社のリスク管理体制は、リスクマネジメント担当役員規程、リスクマネジメント委員会規程等を定め、個々のリスクについての管理責任者を決定し、同規程に従ったリスク管理体制を構築しております。

・子会社の業務の適正を確保するための体制整備の状況

当社の子会社の業務の適正を確保するため、グループ企業全てに適用する行動指針として、関係会社管理規則を定め、これを基礎として、グループ各社で規則規定を定めております。

ニ．責任限定契約の内容の概要

当社と社外取締役及び監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該責任限定契約に基づく損害賠償責任の限度額は、社外取締役、監査役ともに法令に定める額としております。

ホ．会計監査人との責任限定契約の内容の概要

当社は、会計監査人である監査法人アリアとの間において、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該責任限定契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令に定める額としております。

内部監査及び監査役監査の状況

当社は、業務執行部門から独立した代表取締役社長直轄の内部監査室を設置し、監査役会と連携をとり、社内各組織及びグループ全体のコンプライアンス、リスクマネジメント及び会計処理の適法性及び業務処理の妥当性の検証並びに改善への提言に重点をおいて進めております。また、当社の内部統制システムの運営状況の検証及び改善事項について提言を行い、当該システムの強化を進めております。

監査役監査は、定期的な監査のほか、経営上及び会計上の課題につきましても、内部監査室、会計監査人と連携をとりながら、効果的かつ効率的な監査の充実を進めております。なお、当社の監査役は、通信・IT業界の長年の経験による事業等に関する豊富な知見、公認会計士や弁護士の資格を有するなど、財務及び会計並びに法律に関する相当程度の知見を有しております。

会計監査の状況

イ．業務を執行した公認会計士の氏名、所属する監査法人及び継続監査年数

| 業務を執行した公認会計士の氏名   | 所属する監査法人 |
|-------------------|----------|
| 代表社員 業務執行社員 茂木 秀俊 | 監査法人アリア  |
| 代表社員 業務執行社員 山中 康之 | 監査法人アリア  |

(注) 継続監査年数につきましては、7年以内であるため記載を省略しております。

ロ．監査業務に係る補助者の構成

公認会計士 2名 その他 5名

社外取締役及び社外監査役

イ．社外取締役及び社外監査役の員数

提出日現在において、当社の社外取締役は1名、社外監査役は3名であります。

ロ．社外取締役及び社外監査役と当社との人的関係、資本的関係又は取引関係その他の利害関係

社外取締役の鈴木泰は、立命館アジア太平洋大学国際経営部の教授であります。立命館アジア太平洋大学と当社との間には特別の関係はありません。

社外監査役の吉澤生雄は、当社の子会社である株式会社トラストアドバイザーズ、モバイルリンク株式会社、有限会社増田製麺、成田ゲートウェイホテル株式会社、株式会社倉敷ロイヤルアートホテル、株式会社東京アパートメント保証及びM & A グローバル・パートナーズ株式会社の監査役であります。

社外監査役の小林伸行は、東陽監査法人の理事長及び株式会社オムテックの社外監査役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。

社外監査役の國吉歩は、フォレストウォーク法律事務所の代表及び株式会社シンシアの社外取締役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。

また、本有価証券報告書提出日現在、社外取締役1名及び社外監査役2名は、次のとおり当社株式を所有しております。

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 社外取締役 | 鈴木 泰  | 6千株   |
| 社外監査役 | 吉澤 生雄 | 312千株 |
| 社外監査役 | 國吉 歩  | 256千株 |

ハ．社外取締役又は社外監査役が企業統治において果たす機能及び役割

社外取締役の鈴木泰は大学教授としての豊富な経験と専門知識を有しており、主にアジアへの投資等について有益なアドバイスをいただけるものと期待し、社外取締役に選任しております。

社外監査役の吉澤生雄は、経営者として幅広く高度な見識と長年の豊富な経験により、経営の監視や適切な助言をいただけるものと期待し、小林伸行は、公認会計士として会社財務・法務に精通しており、会社経営を統轄する十分な見識を当社の監査に反映していただくことを期待し、國吉歩は、弁護士としての高度な専門的知識を当社の監査に反映していただくことを期待し、社外監査役に選任しております。

ニ．社外取締役又は社外監査役の当社からの独立性に関する基準又は方針の内容

当社は、独立役員を選任基準を下記のとおり設け、取締役会の承認を得て1名の社外取締役及び3名の社外監査役を一般株主保護の観点より一般株主と利益相反のおそれがない、コーポレート・ガバナンスを有効に機能させる役割を持つ独立役員として選任し、東京証券取引所へ届け出ております。

- ．過去に当社の役員及び従業員（執行役員を含む）としての経歴がなく、役員報酬・給与・顧問料の報酬を得たことのないこと
- ．会社経営について高い見識を有すること
- ．当社と特別な利害関係がないこと
- ．定例の取締役会に出席が可能なこと

ホ．社外取締役又は社外監査役の選任状況に関する当社の考え方

当社の社外取締役又は社外監査役の選任状況の考え方は以下のとおりです。

経営者としての経験、知識及び各業界における長年の経験や、公認会計士としての高い専門性と監査経験及び知識、並びに弁護士としての高い専門性と経験及び知識に基づく視点を期待し選任しております。

ヘ．社外取締役又は社外監査役による監督又は監査と内部監査、監査役監査及び会計監査人との相互連携並びに内部統制部門との関係

社外取締役は、豊富な経験と専門知識に基づき取締役会において適宜意見を表明し、経営陣から独立した立場から経営の監督及びチェック機能を果たしております。

社外監査役は、取締役会において専門的、客観的見地から、適宜発言をおこなっております。また、業務執行部門から独立した内部監査室と連動し、社内各組織及びグループ全体のコンプライアンス（法令遵守）、リスクマネジメント及び会計処理の適正性、業務処理の妥当性の検証並びに改善への提言を行っております。なお、会計監査人との関係においては、定期的な監査のほか定期的に情報交換及び意見交換し、監査役会とより効果的な連携を求める等、監査役監査の充実を図っております。

役員の報酬等

イ．役員報酬の内容（社内取締役と社外取締役に区分した内容）

| 区分        | 員数（名） | 年間報酬（千円） |
|-----------|-------|----------|
| 取締役       | 5     | 29,550   |
| （うち社外取締役） | （1）   | （1,800）  |
| 監査役       | 3     | 8,400    |
| （うち社外監査役） | （3）   | （8,400）  |

（注）1．取締役の支給額には、使用人兼取締役の使用人分給与は含まれておりません。

2．取締役の報酬限度額は、昭和63年10月28日開催の第24期定時株主総会において年額80,000千円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。

3．監査役の報酬限度額は、昭和63年10月28日開催の第24期定時株主総会において年額15,000千円以内と決議いただいております。

4．当事業年度中において、役員賞与の支給はありません。

5．当事業年度において、社外取締役及び社外監査役が、役員を兼任する子会社等から、役員として受けた報酬等はありません。

6．当事業年度末現在の員数は、取締役5名（うち社外取締役1名）、監査役3名（うち社外監査役3名）であります。なお、無報酬の取締役1名が存在しております。

ロ．従業員の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針

該当事項はありません。

株式の保有状況

イ．投資株式のうち保有目的が純投資目的以外の目的であるものの銘柄数及び貸借対照

表計上額の合計額

2銘柄 28,784千円

ロ．保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式の保有区分、銘柄、株式数、貸借対照表計上額及び保有目的

前事業年度

特定投資株式

| 銘柄                                              | 株式数(株)    | 貸借対照表計上額<br>(千円) | 保有目的          |
|-------------------------------------------------|-----------|------------------|---------------|
| Chuo Senko (Thailand)<br>Public Company Limited | 3,420,000 | 54,330           | 取引関係強化及び維持のため |

当事業年度

特定投資株式

| 銘柄                                              | 株式数(株)    | 貸借対照表計上額<br>(千円) | 保有目的          |
|-------------------------------------------------|-----------|------------------|---------------|
| Chuo Senko (Thailand)<br>Public Company Limited | 3,420,000 | 6,689            | 取引関係強化及び維持のため |
| Smart Metro Private<br>Limited                  | 150       | 22,095           | 取引関係強化及び維持のため |

ハ．保有目的が純投資目的である投資株式の前事業年度及び当事業年度における貸借対照表計上額の合計額並びに当事業年度における受取配当金、売却損益及び評価損益の合計額

| 区分    | 前事業年度<br>(千円)    | 当事業年度(千円)        |               |              |              |
|-------|------------------|------------------|---------------|--------------|--------------|
|       | 貸借対照表計上<br>額の合計額 | 貸借対照表計上<br>額の合計額 | 受取配当金<br>の合計額 | 売却損益<br>の合計額 | 評価損益<br>の合計額 |
| 非上場株式 | 48               | 48               | -             | -            | (注)1         |

(注)1．非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「評価損益の合計額」は記載しておりません。

取締役の定数

当社の取締役は、10名以内とする旨を定款に定めております。

取締役の選任の決議要件

当社は、取締役の選任決議について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う旨を定款に定めております。また、取締役の選任については、累積投票によらない旨を定款に定めております。

株主総会決議事項のうち取締役会で決議することができる事項

イ．取締役の責任免除

当社は、会社法第426条第1項の規定により、会社法第423条第1項に定める取締役(取締役であったものを含む。)の損害賠償責任を、法令の限度において、取締役会の決議によって免除することができる旨を定款に定めております。

ロ．監査役の責任免除

当社は、会社法第426条第1項の規定により、会社法第423条第1項に定める監査役(監査役であったものを含む。)の損害賠償責任を、法令の限度において、取締役会の決議によって免除することができる旨を定款に定めております。

八．中間配当の決定機関

当社は、会社法第454条第5項に定める剰余金の配当（中間配当金）について、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。これは、中間配当の決定機関を取締役会とすることにより、当社を取り巻く事業環境や業績に応じて、株主への機動的な利益還元を行うことを目的とするものであります。

株主総会の特別決議要件

当社は、会社法第309条第2項の規定による株主総会の決議について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う旨を定款に定めております。これは、株主総会における特別決議の定足数を緩和することで、株主総会の円滑な運営を行うことを目的とするものであります。

(2) 【監査報酬の内容等】

【監査公認会計士等に対する報酬の内容】

| 区分    | 前連結会計年度          |                 | 当連結会計年度          |                 |
|-------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|
|       | 監査証明業務に基づく報酬（千円） | 非監査業務に基づく報酬（千円） | 監査証明業務に基づく報酬（千円） | 非監査業務に基づく報酬（千円） |
| 提出会社  | 10,500           | -               | 10,500           | -               |
| 連結子会社 | -                | -               | -                | -               |
| 計     | 10,500           | -               | 10,500           | -               |

【その他重要な報酬の内容】

（前連結会計年度）

該当事項はありません。

（当連結会計年度）

該当事項はありません。

【監査公認会計士等の提出会社に対する非監査業務の内容】

（前連結会計年度）

該当事項はありません。

（当連結会計年度）

該当事項はありません。

【監査報酬の決定方針】

当社の事業規模、特性、監査日数等を勘案した上で、代表取締役が監査役会の同意を得て定めております。



## 第5【経理の状況】

### 1. 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

(1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づいて作成しております。

(2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

また、当社は、特例財務諸表提出会社に該当し、財務諸表等規則第127条の規定により財務諸表を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結会計年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の連結財務諸表及び事業年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の財務諸表について、監査法人アリアによる監査を受けております。

### 3. 連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

(1) 当社の財務報告の適正性を確保するための体制は以下のとおりであります。

当社は財務報告に係る内部統制の適正な運営がなされる体制を整備するため、内部統制に関する方針等を定めております。

財務報告の適正性を確保するため、内部統制の管轄部署として内部監査室を設置しております。

内部監査室は、グループ会社監査や会議・通達等を通じて、グループ会社の業務が法令及び規則・規程に適合し適正に執行されるよう指導し、経理部と連携して財務報告の正確性と信頼性を確保する体制を構築しております。

(2) 当社は、連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みとして、公益財団法人財務会計基準機構へ加入し、会計基準の内容又はその変更等についての的確に対応ができる体制の整備を行っております。

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【連結貸借対照表】

(単位：千円)

|                 | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| <b>資産の部</b>     |                         |                         |
| <b>流動資産</b>     |                         |                         |
| 現金及び預金          | 1,419,638               | 1,536,880               |
| 売掛金             | 118,738                 | 132,794                 |
| 有価証券            | 51,023                  | 15,541                  |
| 販売用不動産          | 203,135                 | 296,687                 |
| その他のたな卸資産       | 21,438                  | 19,721                  |
| 繰延税金資産          | 39,997                  | 16,000                  |
| その他             | 98,519                  | 139,660                 |
| 貸倒引当金           | 6,511                   | 6,217                   |
| 流動資産合計          | 1,945,978               | 2,151,067               |
| <b>固定資産</b>     |                         |                         |
| <b>有形固定資産</b>   |                         |                         |
| 建物及び構築物         | 1,012,522               | 1,080,155               |
| 減価償却累計額         | 147,416                 | 196,944                 |
| 建物及び構築物(純額)     | 865,106                 | 883,211                 |
| 機械装置及び運搬具       | 36,548                  | 43,475                  |
| 減価償却累計額         | 30,829                  | 33,647                  |
| 機械装置及び運搬具(純額)   | 5,719                   | 9,827                   |
| 工具、器具及び備品       | 60,067                  | 77,849                  |
| 減価償却累計額         | 35,423                  | 45,744                  |
| 工具、器具及び備品(純額)   | 24,644                  | 32,104                  |
| 土地              | 1,348,663               | 1,348,663               |
| 有形固定資産合計        | 1,244,132               | 1,273,807               |
| <b>無形固定資産</b>   |                         |                         |
| のれん             | 208,685                 | 182,638                 |
| その他             | 12,009                  | 22,695                  |
| 無形固定資産合計        | 220,694                 | 205,333                 |
| <b>投資その他の資産</b> |                         |                         |
| 投資有価証券          | 54,379                  | 49,588                  |
| 関係会社株式          | 78,645                  | 82,671                  |
| 繰延税金資産          | -                       | 68,693                  |
| その他             | 64,316                  | 65,309                  |
| 貸倒引当金           | 3,089                   | 5,027                   |
| 投資その他の資産合計      | 194,251                 | 261,235                 |
| 固定資産合計          | 1,659,078               | 1,740,376               |
| 資産合計            | 3,605,056               | 3,891,444               |

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                         |
| 流動負債          |                         |                         |
| 買掛金           | 63,046                  | 86,120                  |
| 短期借入金         | 2,200                   | 2,500                   |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,149,632               | 1,166,108               |
| 前受収益          | 82,244                  | 119,734                 |
| 未払金           | 82,273                  | 85,482                  |
| 未払法人税等        | 40,677                  | 23,206                  |
| 賞与引当金         | 21,929                  | 28,606                  |
| 預り金           | 101,100                 | 92,383                  |
| 金利スワップ        | 44,800                  | 33,049                  |
| その他           | 136,110                 | 141,229                 |
| 流動負債合計        | 723,816                 | 825,922                 |
| 固定負債          |                         |                         |
| 長期借入金         | 1,819,266               | 1,733,712               |
| 退職給付に係る負債     | 8,967                   | 10,025                  |
| 長期預り敷金保証金     | 244,695                 | 240,135                 |
| 繰延税金負債        | 162,258                 | 183,053                 |
| 固定負債合計        | 1,235,187               | 1,166,926               |
| 負債合計          | 1,959,003               | 1,992,848               |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                         |
| 株主資本          |                         |                         |
| 資本金           | 1,578,674               | 1,582,416               |
| 資本剰余金         | 267,219                 | 270,961                 |
| 利益剰余金         | 160,867                 | 68,359                  |
| 自己株式          | 3,020                   | 3,020                   |
| 株主資本合計        | 1,682,005               | 1,918,716               |
| その他の包括利益累計額   |                         |                         |
| その他有価証券評価差額金  | -                       | 4,641                   |
| 繰延ヘッジ損益       | 44,800                  | 33,049                  |
| 為替換算調整勘定      | -                       | 2,279                   |
| その他の包括利益累計額合計 | 44,800                  | 26,129                  |
| 新株予約権         | 8,219                   | 5,415                   |
| 非支配株主持分       | 628                     | 593                     |
| 純資産合計         | 1,646,052               | 1,898,595               |
| 負債純資産合計       | 3,605,056               | 3,891,444               |

## 【連結損益計算書及び連結包括利益計算書】

## 【連結損益計算書】

(単位：千円)

|                    | 前連結会計年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|--------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 売上高                | 5,046,810                                | 6,366,301                                |
| 売上原価               | 3,011,007                                | 4,352,369                                |
| 売上総利益              | 2,035,802                                | 2,013,932                                |
| 販売費及び一般管理費         | 1,173,660                                | 1,173,657                                |
| 営業利益               | 297,141                                  | 279,274                                  |
| 営業外収益              |                                          |                                          |
| 受取利息               | 7,182                                    | 715                                      |
| 受取配当金              | 2,529                                    | 436                                      |
| 有価証券売却益            | 1,000                                    | 6,247                                    |
| 受取手数料              | 12,326                                   | 16,712                                   |
| その他                | 14,044                                   | 10,836                                   |
| 営業外収益合計            | 37,084                                   | 34,948                                   |
| 営業外費用              |                                          |                                          |
| 支払利息               | 19,608                                   | 16,937                                   |
| 有価証券評価損            | 5,670                                    | -                                        |
| 持分法による投資損失         | 10,240                                   | 3,431                                    |
| 為替差損               | 16,326                                   | -                                        |
| その他                | 5,041                                    | 733                                      |
| 営業外費用合計            | 56,886                                   | 21,102                                   |
| 経常利益               | 277,339                                  | 293,121                                  |
| 特別利益               |                                          |                                          |
| 投資有価証券売却益          | 30,805                                   | 32,354                                   |
| その他                | 124                                      | -                                        |
| 特別利益合計             | 30,930                                   | 32,354                                   |
| 特別損失               |                                          |                                          |
| 投資有価証券売却損          | 1,221                                    | -                                        |
| 投資有価証券評価損          | 44,744                                   | 47,682                                   |
| 解約違約金              | 9,965                                    | -                                        |
| 減損損失               | 2,99,486                                 | -                                        |
| その他                | 359                                      | -                                        |
| 特別損失合計             | 155,777                                  | 47,682                                   |
| 税金等調整前当期純利益        | 152,491                                  | 277,793                                  |
| 法人税、住民税及び事業税       | 68,631                                   | 74,809                                   |
| 法人税等調整額            | 50,916                                   | 26,207                                   |
| 法人税等合計             | 17,714                                   | 48,601                                   |
| 当期純利益              | 134,777                                  | 229,191                                  |
| 非支配株主に帰属する当期純損失( ) | 479                                      | 35                                       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益    | 135,256                                  | 229,226                                  |

## 【連結包括利益計算書】

(単位：千円)

|              | 前連結会計年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|--------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 当期純利益        | 134,777                                  | 229,191                                  |
| その他の包括利益     |                                          |                                          |
| その他有価証券評価差額金 | 35,077                                   | 4,641                                    |
| 繰延ヘッジ損益      | 9,155                                    | 11,750                                   |
| 為替換算調整勘定     | -                                        | 2,279                                    |
| その他の包括利益合計   | 44,232                                   | 18,671                                   |
| 包括利益         | 90,544                                   | 247,862                                  |
| (内訳)         |                                          |                                          |
| 親会社株主に係る包括利益 | 91,023                                   | 247,898                                  |
| 非支配株主に係る包括利益 | 479                                      | 35                                       |

【連結株主資本等変動計算書】

前連結会計年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：千円）

|                          | 株主資本      |         |         |       |           |
|--------------------------|-----------|---------|---------|-------|-----------|
|                          | 資本金       | 資本剰余金   | 利益剰余金   | 自己株式  | 株主資本合計    |
| 当期首残高                    | 1,578,674 | 264,268 | 296,124 | 2,976 | 1,543,841 |
| 当期変動額                    |           |         |         |       |           |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益      |           |         | 135,256 |       | 135,256   |
| 自己株式の取得                  |           |         |         | 44    | 44        |
| 非支配株主との取引に<br>係る親会社の持分変動 |           | 2,951   |         |       | 2,951     |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額）  |           |         |         |       |           |
| 当期変動額合計                  | -         | 2,951   | 135,256 | 44    | 138,163   |
| 当期末残高                    | 1,578,674 | 267,219 | 160,867 | 3,020 | 1,682,005 |

|                          | その他の包括利益累計額      |         |              |                   | 新株予約権 | 非支配株主<br>持分 | 純資産合計     |
|--------------------------|------------------|---------|--------------|-------------------|-------|-------------|-----------|
|                          | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整<br>勘定 | その他の包括利<br>益累計額合計 |       |             |           |
| 当期首残高                    | 35,077           | 35,645  | -            | 567               | 5,994 | 28,060      | 1,577,328 |
| 当期変動額                    |                  |         |              |                   |       |             |           |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益      |                  |         |              |                   |       |             | 135,256   |
| 自己株式の取得                  |                  |         |              |                   |       |             | 44        |
| 非支配株主との取引に<br>係る親会社の持分変動 |                  |         |              |                   |       |             | 2,951     |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額）  | 35,077           | 9,155   | -            | 44,232            | 2,225 | 27,431      | 69,439    |
| 当期変動額合計                  | 35,077           | 9,155   | -            | 44,232            | 2,225 | 27,431      | 68,724    |
| 当期末残高                    | -                | 44,800  | -            | 44,800            | 8,219 | 628         | 1,646,052 |

当連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

(単位：千円)

|                         | 株主資本      |         |         |       |           |
|-------------------------|-----------|---------|---------|-------|-----------|
|                         | 資本金       | 資本剰余金   | 利益剰余金   | 自己株式  | 株主資本合計    |
| 当期首残高                   | 1,578,674 | 267,219 | 160,867 | 3,020 | 1,682,005 |
| 当期変動額                   |           |         |         |       |           |
| 新株の発行                   | 3,742     | 3,742   |         |       | 7,484     |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益     |           |         | 229,226 |       | 229,226   |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |           |         |         |       |           |
| 当期変動額合計                 | 3,742     | 3,742   | 229,226 | -     | 236,710   |
| 当期末残高                   | 1,582,416 | 270,961 | 68,359  | 3,020 | 1,918,716 |

|                         | その他の包括利益累計額      |         |              |                   | 新株予約権 | 非支配株主<br>持分 | 純資産合計     |
|-------------------------|------------------|---------|--------------|-------------------|-------|-------------|-----------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整<br>勘定 | その他の包括利<br>益累計額合計 |       |             |           |
| 当期首残高                   | -                | 44,800  | -            | 44,800            | 8,219 | 628         | 1,646,052 |
| 当期変動額                   |                  |         |              |                   |       |             |           |
| 新株の発行                   |                  |         |              |                   |       |             | 7,484     |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益     |                  |         |              |                   |       |             | 229,226   |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | 4,641            | 11,750  | 2,279        | 18,671            | 2,804 | 35          | 15,832    |
| 当期変動額合計                 | 4,641            | 11,750  | 2,279        | 18,671            | 2,804 | 35          | 252,542   |
| 当期末残高                   | 4,641            | 33,049  | 2,279        | 26,129            | 5,415 | 593         | 1,898,595 |

## 【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

|                         | 前連結会計年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|-------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |                                          |                                          |
| 税金等調整前当期純利益             | 152,491                                  | 277,793                                  |
| 減価償却費                   | 61,694                                   | 68,008                                   |
| 減損損失                    | 99,486                                   | -                                        |
| のれん償却額                  | 41,675                                   | 26,047                                   |
| 貸倒引当金の増減額(は減少)          | 3,597                                    | 1,644                                    |
| その他の引当金の増減額(は減少)        | 5,311                                    | 7,734                                    |
| 投資有価証券売却損益(は益)          | 29,584                                   | 32,354                                   |
| 投資有価証券評価損益(は益)          | 44,744                                   | 47,682                                   |
| 持分法による投資損益(は益)          | 10,240                                   | 3,431                                    |
| 受取利息及び受取配当金             | 9,712                                    | 1,152                                    |
| 支払利息                    | 19,608                                   | 16,937                                   |
| 有価証券売却損益(は益)            | 1,000                                    | 6,247                                    |
| 有価証券評価損益(は益)            | 5,670                                    | -                                        |
| 為替差損益(は益)               | 16,326                                   | 482                                      |
| 売上債権の増減額(は増加)           | 2,708                                    | 15,994                                   |
| たな卸資産の増減額(は増加)          | 177,222                                  | 91,835                                   |
| 仕入債務の増減額(は減少)           | 847                                      | 23,073                                   |
| 預り金の増減額(は減少)            | 79                                       | 8,716                                    |
| 預り敷金及び保証金の増減額(は減少)      | 2,271                                    | 4,560                                    |
| その他                     | 9,421                                    | 67,198                                   |
| 小計                      | 232,700                                  | 378,208                                  |
| 利息及び配当金の受取額             | 9,712                                    | 494                                      |
| 利息の支払額                  | 19,606                                   | 16,894                                   |
| 法人税等の支払額                | 66,179                                   | 83,331                                   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 156,626                                  | 278,477                                  |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |                                          |                                          |
| 有価証券の取得による支出            | 64,230                                   | 3,164                                    |
| 有価証券の売却による収入            | 8,537                                    | 44,924                                   |
| 有形固定資産の取得による支出          | 18,022                                   | 82,033                                   |
| 無形固定資産の取得による支出          | 8,666                                    | 12,512                                   |
| 定期預金の純増減額(は増加)          | 6,000                                    | 9,500                                    |
| 投資有価証券の取得による支出          | 99,112                                   | 120,615                                  |
| 投資有価証券の売却による収入          | 109,827                                  | 32,380                                   |
| 関係会社出資金の払込による支出         | 69,130                                   | 5,178                                    |
| 貸付けによる支出                | 167,900                                  | 700                                      |
| 貸付金の回収による収入             | 155,490                                  | 1,303                                    |
| その他                     | 103                                      | 299                                      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | 159,310                                  | 135,796                                  |



(単位：千円)

|                            | 前連結会計年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|----------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>    |                                          |                                          |
| 短期借入金の増減額（は減少）             | 2,000                                    | 48,000                                   |
| 長期借入れによる収入                 | 190,000                                  | 100,000                                  |
| 長期借入金の返済による支出              | 134,443                                  | 169,078                                  |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | 24,000                                   | -                                        |
| 新株予約権の発行による支出              | 2,597                                    | -                                        |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入      | -                                        | 7,304                                    |
| 新株予約権の買入消却による支出            | -                                        | 2,745                                    |
| 自己株式の取得による支出               | 44                                       | -                                        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー           | 30,914                                   | 16,518                                   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額           | 1,575                                    | 580                                      |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少）         | 26,656                                   | 126,741                                  |
| 現金及び現金同等物の期首残高             | 1,283,481                                | 1,310,138                                |
| 現金及び現金同等物の期末残高             | 1,310,138                                | 1,436,880                                |

【注記事項】

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 8社

連結子会社の名称

M & A グローバル・パートナーズ株式会社  
株式会社トラストアドバイザーズ  
モバイルリンク株式会社  
有限会社増田製麺  
株式会社グローバルホールディングス  
成田ゲートウェイホテル株式会社  
株式会社東京アパートメント保証  
株式会社倉敷ロイヤルアートホテル

(2) 非連結子会社の数 1社

非連結子会社の名称 STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD.

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の関連会社数 1社

会社名 新光行動聯網股份有限公司

(2) 持分法を適用していない非連結子会社 (STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD.) 及び関連会社

(STRIDER CAPITAL ASIA PTE. LTD.、SMART FUNDS PTE. LTD.) は、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外しております。

(3) 持分法適用会社のうち、決算日が連結決算日と異なる会社については、各社の事業年度に係る財務諸表を使用しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

すべての連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券

・ 売買目的有価証券

時価法(売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

・ その他の有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

たな卸資産

・ 販売用不動産

主として個別法による原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によって算定しております。

・ その他のたな卸資産

商品及び製品は、個別法による原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、原材料は、主として最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、貯蔵品は、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によって算定しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

当社及び連結子会社は主として定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しております。なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。

|           |        |
|-----------|--------|
| 建物及び構築物   | 6年～31年 |
| 機械装置及び運搬具 | 2年～10年 |
| 工具、器具及び備品 | 2年～13年 |

無形固定資産

自社利用ソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、当社及び連結子会社は、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度負担額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

一部の連結子会社は、退職給付にかかる負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(6) 重要なヘッジ会計の方針

・ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

・ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...金利スワップ

ヘッジ対象...借入金

・ヘッジ方針

当社の内規である「デリバティブ管理規程」に基づき、金利変動リスクをヘッジしております。

・ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、その変動額の比率によって有効性を評価しております。

(7) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、その効果の発現する期間を個別に見積もり、20年以内の合理的な年数で定額法により償却を行っております。

(8) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引出し可能な預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。

(9) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

( 会計方針の変更 )

( 平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用 )

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当連結会計年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

( 表示方法の変更 )

( 連結貸借対照表 )

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「無形固定資産」の「ソフトウェア」及び「電話加入権」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「無形固定資産」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「無形固定資産」に表示していた「ソフトウェア」11,064千円、「電話加入権」944千円は、「無形固定資産」の「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、「流動負債」の「その他」に含めていた「前受収益」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた218,355千円は、「前受収益」82,244千円、「その他」136,110千円として組み替えております。

( 連結損益計算書 )

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取事務手数料」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取事務手数料」に表示していた4,200千円は、「営業外収益」の「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「新株発行費」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「営業外費用」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「新株発行費」に表示していた4,822千円は、「営業外費用」の「その他」として組み替えております。

( 連結キャッシュ・フロー計算書 )

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「新株発行費」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「新株発行費」に表示していた4,822千円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、総額表示していた「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「定期預金の預入による支出」及び「定期預金の払戻による収入」は、期間が短く、かつ回転が速いため、当連結会計年度より「定期預金の純増減額(は増加)」として純額表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「定期預金の預入による支出」に表示していた6,000千円は、「定期預金の純増減額(は増加)」として組み替えております。

( 追加情報 )

( 繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用 )

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(連結貸借対照表関係)

1 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

|      | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------|
| 定期預金 | 100,000千円               | 100,000千円               |
| 建物   | 834,728                 | 792,324                 |
| 土地   | 348,663                 | 348,663                 |
| 計    | 1,283,391               | 1,240,987               |

担保付債務は、次のとおりであります。

|                      | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| 長期借入金(1年内返済予定のものも含む) | 786,839千円               | 717,727千円               |

2 当座貸越契約

当社は、資本効率の向上を図りつつ、必要な時に運転資金の効率的な調達を行うため、株式会社新生銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高等は次のとおりであります。

|         | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|---------|-------------------------|-------------------------|
| 当座貸越限度額 | 50,000千円                | 100,000千円               |
| 借入実行残高  | 2,000                   | 50,000                  |
| 差引額     | 48,000                  | 50,000                  |

(連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

|          | 前連結会計年度<br>(自平成27年4月1日<br>至平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成28年4月1日<br>至平成29年3月31日) |
|----------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 役員報酬     | 80,719千円                               | 75,444千円                               |
| 給与手当     | 437,237                                | 476,553                                |
| 賞与引当金繰入額 | 35,927                                 | 45,906                                 |
| 退職給付費用   | 1,776                                  | 312                                    |
| 貸倒引当金繰入額 | 3,914                                  | 1,914                                  |
| 業務委託費    | 270,766                                | 241,647                                |
| 支払手数料    | 182,623                                | 182,074                                |
| のれん償却額   | 41,675                                 | 26,047                                 |

2 減損損失

前連結会計年度(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(1) 減損損失を認識した資産

| 場所      | 用途 | 種類  | 減損損失     |
|---------|----|-----|----------|
| (株)増田製麺 | -  | のれん | 99,486千円 |

(2) 減損損失の認識に至った経緯

当社連結子会社である有限会社増田製麺に係るのれんについて、取得時に検討した事業計画において想定していた収益が見込めなくなったことから、減損損失を認識いたしました。

(3) グルーピングの方法

当社グループは、事業の種類でグルーピングを行っております。

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能額を零として算定しております。

当連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

該当事項はありません。

(連結包括利益計算書関係)  
その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

|               | 前連結会計年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|---------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| その他有価証券評価差額金： |                                          |                                          |
| 当期発生額         | 17,800千円                                 | 6,948千円                                  |
| 組替調整額         | 70,232                                   | -                                        |
| 税効果調整前        | 52,432                                   | 6,948                                    |
| 税効果額          | 17,355                                   | 2,306                                    |
| その他有価証券評価差額金  | 35,077                                   | 4,641                                    |
| 繰延ヘッジ損益：      |                                          |                                          |
| 当期発生額         | 9,155                                    | 11,750                                   |
| 為替換算調整勘定：     |                                          |                                          |
| 当期発生額         | -                                        | 2,279                                    |
| その他の包括利益合計    | 44,232                                   | 18,671                                   |

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|         | 当連結会計年度期<br>首株式数(千株) | 当連結会計年度増<br>加株式数(千株) | 当連結会計年度減<br>少株式数(千株) | 当連結会計年度末<br>株式数(千株) |
|---------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 発行済株式   |                      |                      |                      |                     |
| 普通株式    | 88,730               | -                    | -                    | 88,730              |
| 合計      | 88,730               | -                    | -                    | 88,730              |
| 自己株式    |                      |                      |                      |                     |
| 普通株式(注) | 25                   | 0                    | -                    | 26                  |
| 合計      | 25                   | 0                    | -                    | 26                  |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 新株予約権に関する事項

| 区分            | 新株予約権の内訳                          | 新株予約権の<br>目的となる株<br>式の種類 | 新株予約権の目的となる株式の数(株) |               |               |              | 当連結会計年<br>度末残高<br>(千円) |
|---------------|-----------------------------------|--------------------------|--------------------|---------------|---------------|--------------|------------------------|
|               |                                   |                          | 当連結会計年<br>度期首      | 当連結会計年<br>度増加 | 当連結会計年<br>度減少 | 当連結会計年<br>度末 |                        |
| 提出会社<br>(親会社) | 第6回新株予約権<br>(平成25年5月29日<br>発行)    | 普通株式                     | 300,000            | -             | -             | 300,000      | 54                     |
| 提出会社<br>(親会社) | 第7回新株予約権<br>(平成26年11月4日<br>発行)    | 普通株式                     | 13,200,000         | -             | -             | 13,200,000   | 5,940                  |
| 提出会社<br>(親会社) | 第8回新株予約権<br>(平成27年10月5日<br>発行)(注) | 普通株式                     | -                  | 4,450,000     | -             | 4,450,000    | 2,225                  |
|               | 合計                                | -                        | 13,500,000         | 4,450,000     | -             | 17,950,000   | 8,219                  |

(注) 第8回新株予約権の当連結会計年度増加は、新株予約権の発行によるものであります。

当連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|         | 当連結会計年度期首株式数（千株） | 当連結会計年度増加株式数（千株） | 当連結会計年度減少株式数（千株） | 当連結会計年度末株式数（千株） |
|---------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 発行済株式   |                  |                  |                  |                 |
| 普通株式（注） | 88,730           | 140              | -                | 88,870          |
| 合計      | 88,730           | 140              | -                | 88,870          |
| 自己株式    |                  |                  |                  |                 |
| 普通株式    | 26               | -                | -                | 26              |
| 合計      | 26               | -                | -                | 26              |

（注）普通株式の発行済株式総数の増加140千株は、新株予約権の行使による新株の発行による増加であります。

2. 新株予約権に関する事項

| 区分        | 新株予約権の内訳                   | 新株予約権の目的となる株式の種類 | 新株予約権の目的となる株式の数（株） |           |           |            | 当連結会計年度末残高（千円） |
|-----------|----------------------------|------------------|--------------------|-----------|-----------|------------|----------------|
|           |                            |                  | 当連結会計年度期首          | 当連結会計年度増加 | 当連結会計年度減少 | 当連結会計年度末   |                |
| 提出会社（親会社） | 第6回新株予約権（平成25年5月29日発行）（注）1 | 普通株式             | 300,000            | -         | 50,000    | 250,000    | 45             |
| 提出会社（親会社） | 第7回新株予約権（平成26年11月4日発行）（注）2 | 普通株式             | 13,200,000         | -         | 6,100,000 | 7,100,000  | 3,195          |
| 提出会社（親会社） | 第8回新株予約権（平成27年10月5日発行）（注）3 | 普通株式             | 4,450,000          | -         | 100,000   | 4,350,000  | 2,175          |
| 合計        |                            | -                | 17,950,000         | -         | 6,250,000 | 11,700,000 | 5,415          |

（注）1. 第6回新株予約権の当連結会計年度減少は、新株予約権の行使によるものであります。

2. 第7回新株予約権の当連結会計年度減少は、新株予約権の消却によるものであります。

3. 第8回新株予約権の当連結会計年度減少は、新株予約権の行使によるものが90,000株、新株予約権の権利失効によるものが10,000株であります。

（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

|           | 前連結会計年度<br>（自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日） | 当連結会計年度<br>（自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日） |
|-----------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 現金及び預金勘定  | 1,419,638千円                              | 1,536,880千円                              |
| 拘束性預金     | 109,500                                  | 100,000                                  |
| 現金及び現金同等物 | 1,310,138                                | 1,436,880                                |

（リース取引関係）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については、銀行借入等による方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、当社グループの与信管理規程に従い、取引先や顧客ごとに期日管理及び残高管理を行っております。

営業債務である買掛金は、1年以内の支払期日です。

借入金のうち、短期借入金は主に営業取引に係る資金調達であり、長期借入金は主に設備投資に係る資金調達です。このうち一部の長期借入金の金利変動リスクを回避するため、金利スワップ取引を実施して支払利息の固定化を実施しております。なお、デリバティブ取引については、社内管理規定に基づき、実需の範囲内で行うことになっております。また、営業債務及び借入金については、流動性リスクが常に発生する恐れがありますので、当社グループでは、グループ各社の管理を当社が行っており、グループ全体を管理しております。

(3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足情報

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。また、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。(注2)をご参照ください)

前連結会計年度(平成28年3月31日)

|                   | 連結貸借対照表計上額<br>(千円) | 時価(千円)    | 差額(千円) |
|-------------------|--------------------|-----------|--------|
| (1) 現金及び預金        | 1,419,638          | 1,419,638 | -      |
| (2) 売掛金           | 118,738            |           |        |
| 貸倒引当金(1)          | 6,511              |           |        |
|                   | 112,226            | 112,226   | -      |
| (3) 有価証券及び投資有価証券  | 105,354            | 105,354   | -      |
| 資産計               | 1,637,219          | 1,637,219 | -      |
| (1) 買掛金           | 63,046             | 63,046    | -      |
| (2) 短期借入金         | 2,000              | 2,000     | -      |
| (3) 1年内返済予定の長期借入金 | 149,632            | 147,986   | 1,645  |
| (4) 未払金           | 82,273             | 82,273    | -      |
| (5) 未払法人税等        | 40,677             | 40,677    | -      |
| (6) 預り金           | 101,100            | 101,100   | -      |
| (7) 長期借入金         | 819,266            | 815,786   | 3,479  |
| (8) 長期預り敷金保証金     | 244,695            | 234,314   | 10,380 |
| 負債計               | 1,502,691          | 1,487,186 | 15,505 |
| デリバティブ取引(2)       | (44,800)           | (44,800)  | -      |

(1) 売掛金に係る貸倒引当金を控除しております。

(2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は、純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については( )で表示しております。



当連結会計年度（平成29年3月31日）

|                   | 連結貸借対照表計上額<br>（千円） | 時価（千円）    | 差額（千円） |
|-------------------|--------------------|-----------|--------|
| (1) 現金及び預金        | 1,536,880          | 1,536,880 | -      |
| (2) 売掛金           | 132,794            |           |        |
| 貸倒引当金（ 1）         | 6,037              |           |        |
|                   | 126,757            | 126,757   | -      |
| (3) 有価証券及び投資有価証券  | 42,986             | 42,986    | -      |
| 資産計               | 1,706,623          | 1,706,623 | -      |
| (1) 買掛金           | 86,120             | 86,120    | -      |
| (2) 短期借入金         | 50,000             | 50,000    | -      |
| (3) 1年内返済予定の長期借入金 | 166,108            | 164,278   | 1,829  |
| (4) 未払金           | 85,482             | 85,482    | -      |
| (5) 未払法人税等        | 23,206             | 23,206    | -      |
| (6) 預り金           | 92,383             | 92,383    | -      |
| (7) 長期借入金         | 733,712            | 715,644   | 18,067 |
| (8) 長期預り敷金保証金     | 240,135            | 229,729   | 10,405 |
| 負債計               | 1,477,148          | 1,446,846 | 30,302 |
| デリバティブ取引（ 2）      | (33,049)           | (33,049)  | -      |

( 1) 売掛金に係る貸倒引当金を控除しております。

( 2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は、純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については( )で表示しております。

(注) 1. 金融商品の時価の算定並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式等は取引所の価格によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照ください。

負 債

(1) 買掛金、(2) 短期借入金、(4) 未払金、(5) 未払法人税等、(6) 預り金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 1年内返済予定の長期借入金、(7) 長期借入金

これらの時価は、元利金の合計額を同様の新規借入金を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(8) 長期預り敷金保証金

長期預り敷金保証金の時価は、残存不動産賃貸契約期間に対応する国債の利回り等適切な指標に信用スプレッドを上乗せした利率で割り引いた現在価値により算定しております。

デリバティブ取引

注記事項（デリバティブ取引関係）をご参照下さい。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

| 区分                | 前連結会計年度<br>（平成28年3月31日） | 当連結会計年度<br>（平成29年3月31日） |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|
| 投資有価証券（非上場株式）（ 1） | 48                      | 22,143                  |
| 関係会社株式（ 2）        | 78,645                  | 82,671                  |

( 1) 投資有価証券（非上場株式）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(3) 有価証券及び投資有価証券」に含めておりません。

( 2) 関係会社株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象としておりません。

3. 金銭債権の連結決算日後の償還予定額  
前連結会計年度(平成28年3月31日)

|        | 1年以内<br>(千円) | 1年超<br>5年以内<br>(千円) | 5年超<br>10年以内<br>(千円) | 10年超<br>(千円) |
|--------|--------------|---------------------|----------------------|--------------|
| 現金及び預金 | 1,419,638    | -                   | -                    | -            |
| 売掛金    | 118,738      | -                   | -                    | -            |
| 合計     | 1,538,376    | -                   | -                    | -            |

当連結会計年度(平成29年3月31日)

|        | 1年以内<br>(千円) | 1年超<br>5年以内<br>(千円) | 5年超<br>10年以内<br>(千円) | 10年超<br>(千円) |
|--------|--------------|---------------------|----------------------|--------------|
| 現金及び預金 | 1,536,880    | -                   | -                    | -            |
| 売掛金    | 132,794      | -                   | -                    | -            |
| 合計     | 1,669,674    | -                   | -                    | -            |

4. 長期借入金及びその他の有利子負債の連結決算日後の返済予定額  
前連結会計年度(平成28年3月31日)

|       | 1年以内<br>(千円) | 1年超<br>2年以内<br>(千円) | 2年超<br>3年以内<br>(千円) | 3年超<br>4年以内<br>(千円) | 4年超<br>5年以内<br>(千円) | 5年超<br>(千円) |
|-------|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------|
| 短期借入金 | 2,000        | -                   | -                   | -                   | -                   | -           |
| 長期借入金 | 149,632      | 132,772             | 106,991             | 69,112              | 69,112              | 441,279     |
| 合計    | 151,632      | 132,772             | 106,991             | 69,112              | 69,112              | 441,279     |

当連結会計年度(平成29年3月31日)

|       | 1年以内<br>(千円) | 1年超<br>2年以内<br>(千円) | 2年超<br>3年以内<br>(千円) | 3年超<br>4年以内<br>(千円) | 4年超<br>5年以内<br>(千円) | 5年超<br>(千円) |
|-------|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------|
| 短期借入金 | 50,000       | -                   | -                   | -                   | -                   | -           |
| 長期借入金 | 166,108      | 140,327             | 82,994              | 69,112              | 65,392              | 375,887     |
| 合計    | 216,108      | 140,327             | 82,994              | 69,112              | 65,392              | 375,887     |

(有価証券関係)

1. 売買目的有価証券

(単位：千円)

|                    | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------|
| 連結会計年度の損益に含まれた評価差額 | 5,670                   | 30                      |

2. その他有価証券

前連結会計年度(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

|                                | 種類 | 連結貸借対照表計上<br>額(千円) | 取得原価(千円) | 差額(千円) |
|--------------------------------|----|--------------------|----------|--------|
| 連結貸借対照表計上<br>額が取得原価を超えるもの      | 株式 | -                  | -        | -      |
|                                | 小計 | -                  | -        | -      |
| 連結貸借対照表計上<br>額が取得原価を超え<br>ないもの | 株式 | 54,330             | 94,358   | 40,027 |
|                                | 小計 | 54,330             | 94,358   | 40,027 |
| 合計                             |    | 54,330             | 94,358   | 40,027 |

(注) 投資有価証券(連結貸借対照表価額48千円)は、市場価格がなく時価を把握することが極めて困難と認められることから上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

|                                | 種類 | 連結貸借対照表計上<br>額(千円) | 取得原価(千円) | 差額(千円) |
|--------------------------------|----|--------------------|----------|--------|
| 連結貸借対照表計上<br>額が取得原価を超えるもの      | 株式 | 20,755             | 15,228   | 5,527  |
|                                | 小計 | 20,755             | 15,228   | 5,527  |
| 連結貸借対照表計上<br>額が取得原価を超え<br>ないもの | 株式 | 6,689              | 94,358   | 87,668 |
|                                | 小計 | 6,689              | 94,358   | 87,668 |
| 合計                             |    | 27,444             | 109,586  | 82,141 |

(注) 投資有価証券(連結貸借対照表価額22,143千円)は、市場価格がなく時価を把握することが極めて困難と認められることから上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

前連結会計年度(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

| 種類 | 売却額(千円) | 売却益の合計額<br>(千円) | 売却損の合計額<br>(千円) |
|----|---------|-----------------|-----------------|
| 株式 | 109,827 | 30,805          | 1,221           |
| 合計 | 109,827 | 30,805          | 1,221           |

当連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

| 種類 | 売却額(千円) | 売却益の合計額<br>(千円) | 売却損の合計額<br>(千円) |
|----|---------|-----------------|-----------------|
| 株式 | 116,994 | 32,354          | -               |
| 合計 | 116,994 | 32,354          | -               |

4. 減損処理を行った有価証券

前連結会計年度において、有価証券について44,744千円（その他有価証券の株式44,744千円）減損処理を行っております。

当連結会計年度において、有価証券について47,682千円（その他有価証券の株式47,682千円）減損処理を行っております。

（デリバティブ取引関係）

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引  
通貨関連

前連結会計年度（平成28年3月31日）

| ヘッジ会計の方法 | 取引の種類                 | 主なヘッジ対象 | 契約額等<br>（千円） | 契約額等のうち<br>1年超（千円） | 時価<br>（千円） |
|----------|-----------------------|---------|--------------|--------------------|------------|
| 原則的処理方法  | 金利スワップ取引<br>変動受取・固定支払 | 借入金     | 847,000      | 675,847            | 44,800     |
| 合計       |                       |         | 847,000      | 675,847            | 44,800     |

（注）時価の算定方法

取引先金融機関等から提示された価格等に基づき算定しております。

当連結会計年度（平成29年3月31日）

| ヘッジ会計の方法 | 取引の種類                 | 主なヘッジ対象 | 契約額等<br>（千円） | 契約額等のうち<br>1年超（千円） | 時価<br>（千円） |
|----------|-----------------------|---------|--------------|--------------------|------------|
| 原則的処理方法  | 金利スワップ取引<br>変動受取・固定支払 | 借入金     | 847,000      | 615,855            | 33,049     |
| 合計       |                       |         | 84,700       | 615,855            | 33,049     |

（注）時価の算定方法

取引先金融機関等から提示された価格等に基づき算定しております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

連結財務諸表提出会社である当社は、従業員の退職給付に充てるため、複数事業主制度の厚生年金基金（東日本文具販売厚生年金基金）制度に加入しておりましたが、平成27年11月27日付で厚生労働大臣より解散認可を受け、解散いたしました。当基金は清算手続中のため記載を省略しております。

また、一部の連結子会社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付制度（退職金規程に基づく退職一時金制度）を採用しており、簡便法により退職給付に係る負債及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1) 簡便法を適用した場合の、退職給付に係る負債の期首残高と期末残高の調整表

|                | 前連結会計年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|----------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 退職給付に係る負債の期首残高 | 7,761千円                                  | 8,967千円                                  |
| 退職給付費用         | 1,206                                    | 1,058                                    |
| 退職給付の支払額       | -                                        | -                                        |
| 退職給付に係る負債の期末残高 | 8,967                                    | 10,025                                   |

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と連結貸借対照表に計上された退職給付に係る負債及び退職給付に係る資産の調整表

|                       | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|-----------------------|-------------------------|-------------------------|
| 積立型制度の退職給付債務          | - 千円                    | - 千円                    |
| 年金資産                  | -                       | -                       |
| 非積立型制度の退職給付債務         | 8,967                   | 10,025                  |
| 連結貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 8,967                   | 10,025                  |
| 退職給付に係る負債             | 8,967                   | 10,025                  |
| 連結貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 8,967                   | 10,025                  |

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用 前連結会計年度1,206千円 当連結会計年度1,058千円

## ( 税効果会計関係 )

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|                   | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|
| 繰延税金資産(流動)        |                         |                         |
| 貸倒引当金超過額          | 734千円                   | 2,473千円                 |
| 賞与引当金             | 6,774                   | 11,989                  |
| 繰越欠損金             | 38,000                  | 16,000                  |
| その他               | 892                     | 1,445                   |
| 繰延税金資産(流動)小計      | 46,401                  | 31,908                  |
| 評価性引当額            | 6,404                   | 15,908                  |
| 繰延税金資産(流動)合計      | 39,997                  | 16,000                  |
| 繰延税金資産(固定)        |                         |                         |
| 繰越欠損金             | 456,246                 | 407,074                 |
| 投資有価証券評価損         | 15,423                  | 30,138                  |
| 減損損失              | 712                     | 700                     |
| その他               | 7,673                   | 9,133                   |
| 繰延税金資産(固定)小計      | 480,056                 | 447,046                 |
| 評価性引当額            | 480,056                 | 376,046                 |
| 繰延税金資産(固定)合計      | -                       | 71,000                  |
| 繰延税金負債(固定)        |                         |                         |
| その他有価証券評価差額金      | -                       | 2,306                   |
| 連結子会社の時価評価に伴う評価差額 | 162,258                 | 183,053                 |
| 繰延税金負債(固定)合計      | 162,258                 | 185,360                 |
| 繰延税金負債(固定)の純額     | 162,258                 | 114,360                 |

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

|                      | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| 法定実効税率               | 33.1%                   | 30.9%                   |
| (調整)                 |                         |                         |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | 15.2                    | 11.2                    |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目   | 0.5                     | 0.4                     |
| 住民税均等割               | 0.7                     | 0.4                     |
| 評価性引当の増減             | 7.6                     | 6.9                     |
| のれんの償却               | 3.1                     | 0.9                     |
| のれんの減損損失             | 7.5                     | -                       |
| 連結修正                 | 10.5                    | 11.0                    |
| 連結納税による影響            | 13.5                    | 8.1                     |
| その他                  | 1.6                     | 0.1                     |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率    | 11.6                    | 17.4                    |

## 3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律」(平成28年法律第85号)及び「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律」(平成28年法律第86号)が平成28年11月18日に国会で成立し、消費税率の10%への引上げ時期が平成29年4月1日から平成31年10月1日に延期されました。

これに伴い、地方法人特別税の廃止及びそれに伴う法人事業税の復元、地方法人税の税率改正、法人住民税法人税割の税率改正の実施時期も平成29年4月1日以後に開始する連結会計年度から平成31年10月1日以後に開始する連結会計年度に延期されました。

繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率に変更はありません。また、国税と地方税の間で税率の組替えが発生しますが、連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に事業の種類別に連結子会社を設置しており、これらの各連結子会社を事業単位として包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「IT関連事業」、「企業再生再編事業」、「不動産賃貸管理事業」、「食品関連事業」及び「ホテル関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

「IT関連事業」は、車載端末システムの開発・販売等を行っております。「企業再生再編事業」は、企業のリストラックチャリングやM&A及び資金調達に関するコンサルティング業務等を行っております。「不動産賃貸管理事業」は、賃貸マンション等の管理業務及び不動産売買業務を行っております。「食品関連事業」は、中華麺の製造・販売を行っております。「ホテル関連事業」は、ホテルの運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載に準拠した方法であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高及び内部振替高等は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

(単位:千円)

|                            | 報告セグメント    |              |               |            |             | 合計        | 調整額<br>(注)1、<br>2、3 | 連結財務諸表<br>上の金額<br>(注)4 |
|----------------------------|------------|--------------|---------------|------------|-------------|-----------|---------------------|------------------------|
|                            | IT関連<br>事業 | 企業再生<br>再編事業 | 不動産賃貸<br>管理事業 | 食品関連<br>事業 | ホテル関連<br>事業 |           |                     |                        |
| 売上高                        |            |              |               |            |             |           |                     |                        |
| 外部顧客への<br>売上高              | 269,581    | 30,000       | 3,022,768     | 162,841    | 1,561,618   | 5,046,810 | -                   | 5,046,810              |
| セグメント間<br>の内部売上高又<br>は振替高  | -          | -            | -             | 48         | 16          | 65        | 65                  | -                      |
| 計                          | 269,581    | 30,000       | 3,022,768     | 162,890    | 1,561,635   | 5,046,876 | 65                  | 5,046,810              |
| セグメント利益<br>又は損失( )         | 10,046     | 29,792       | 183,999       | 1,748      | 244,349     | 446,347   | 149,205             | 297,141                |
| セグメント資産                    | 126,900    | 45,188       | 834,306       | 99,542     | 1,843,877   | 2,949,815 | 655,241             | 3,605,056              |
| その他の項目                     |            |              |               |            |             |           |                     |                        |
| 減価償却費                      | 1,526      | -            | 1,662         | 1,474      | 55,344      | 60,008    | 1,686               | 61,694                 |
| のれんの償却額                    | 2,864      | -            | 15,060        | 15,597     | 8,152       | 41,675    | -                   | 41,675                 |
| 持分法投資利益<br>又は損失( )         | 10,240     | -            | -             | -          | -           | 10,240    | -                   | 10,240                 |
| 有形固定資産及<br>び無形固定資産<br>の増加額 | 590        | -            | 6,294         | -          | 26,651      | 33,535    | 153                 | 33,688                 |

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 149,205千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント資産及び減価償却費の調整額は、各報告セグメントへ配分していない全社資産及び減価償却費であります。

3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントへ配分していない全社資産であります。

4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

|                            | 報告セグメント    |              |               |            |             | その他<br>(注)1 | 合計        | 調整額<br>(注)2、<br>3、4 | 連結財務諸表<br>上の金額<br>(注)5 |
|----------------------------|------------|--------------|---------------|------------|-------------|-------------|-----------|---------------------|------------------------|
|                            | IT関連<br>事業 | 企業再生<br>再編事業 | 不動産賃貸<br>管理事業 | 食品関連<br>事業 | ホテル関連<br>事業 |             |           |                     |                        |
| 売上高                        |            |              |               |            |             |             |           |                     |                        |
| 外部顧客への<br>売上高              | 308,429    | 30,000       | 4,401,213     | 162,802    | 1,463,355   | 500         | 6,366,301 | -                   | 6,366,301              |
| セグメント間<br>の内部売上高又は<br>振替高  | -          | -            | -             | 12         | -           | -           | 12        | 12                  | -                      |
| 計                          | 308,429    | 30,000       | 4,401,213     | 162,814    | 1,463,355   | 500         | 6,366,313 | 12                  | 6,366,301              |
| セグメント利益                    | 5,376      | 26,811       | 166,512       | 13,562     | 228,822     | 500         | 441,585   | 162,311             | 279,274                |
| セグメント資産                    | 152,217    | 180,406      | 1,001,662     | 96,623     | 1,757,722   | -           | 3,188,631 | 702,812             | 3,891,444              |
| その他の項目                     |            |              |               |            |             |             |           |                     |                        |
| 減価償却費                      | 1,218      | -            | 2,020         | 2,296      | 61,121      | -           | 66,657    | 1,351               | 68,008                 |
| のれんの償却額                    | 2,864      | -            | 15,060        | -          | 8,122       | -           | 26,047    | -                   | 26,047                 |
| 持分法投資利益<br>又は損失( )         | 3,431      | -            | -             | -          | -           | -           | 3,431     | -                   | 3,431                  |
| 有形固定資産及び<br>無形固定資産<br>の増加額 | -          | -            | 12,779        | 5,500      | 89,611      | -           | 107,891   | 478                 | 108,369                |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング事業であります。

2. セグメント利益の調整額 162,311千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
3. セグメント資産及び減価償却費の調整額は、各報告セグメントへ配分していない全社資産及び減価償却費であります。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントへ配分していない全社資産であります。
5. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 【関連情報】

前連結会計年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

##### 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

##### 2. 地域ごとの情報

###### (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

###### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### 3. 主要な顧客ごとの情報

当連結会計年度におきまして総販売実績に対する割合が100分の10以上の販売先がありませんので記載を省略しております。



当連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

当連結会計年度におきまして総販売実績に対する割合が100分の10以上の販売先がありませんので記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：千円）

|      | IT関連<br>事業 | 企業再生<br>再編事業 | 不動産賃貸<br>管理事業 | 食品関連<br>事業 | ホテル関連<br>事業 | 全社・消去 | 合計     |
|------|------------|--------------|---------------|------------|-------------|-------|--------|
| 減損損失 | -          | -            | -             | 99,486     | -           | -     | 99,486 |

当連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：千円）

|       | IT関連<br>事業 | 企業再生<br>再編事業 | 不動産賃貸<br>管理事業 | 食品関連<br>事業 | ホテル関連<br>事業 | 全社・消去 | 合計      |
|-------|------------|--------------|---------------|------------|-------------|-------|---------|
| 当期償却額 | 2,864      | -            | 15,060        | 15,597     | 8,152       | -     | 41,675  |
| 当期末残高 | 17,783     | -            | 42,671        | -          | 148,229     | -     | 208,685 |

当連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

|       | IT関連<br>事業 | 企業再生<br>再編事業 | 不動産賃貸<br>管理事業 | 食品関連<br>事業 | ホテル関連<br>事業 | 全社・消去 | 合計      |
|-------|------------|--------------|---------------|------------|-------------|-------|---------|
| 当期償却額 | 2,864      | -            | 15,060        | -          | 8,122       | -     | 26,047  |
| 当期末残高 | 14,919     | -            | 27,611        | -          | 140,107     | -     | 182,638 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## ( 1株当たり情報 )

|                     | 前連結会計年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|---------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 1株当たり純資産額           | 18.46円                                   | 21.30円                                   |
| 1株当たり当期純利益金額        | 1.52円                                    | 2.58円                                    |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 1.51円                                    | 2.57円                                    |

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                                                   | 前連結会計年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日)        | 当連結会計年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日)       |
|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1株当たり当期純利益金額                                      |                                                 |                                                |
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)                             | 135,256                                         | 229,226                                        |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)                                  | -                                               | -                                              |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)                      | 135,256                                         | 229,226                                        |
| 期中平均株式数(千株)                                       | 88,704                                          | 88,738                                         |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額<br>(算定上の基礎)                   |                                                 |                                                |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)                            | -                                               | -                                              |
| 普通株式増加数(千株)                                       | 827                                             | 511                                            |
| (うち新株予約権(千株))                                     | (827)                                           | (511)                                          |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 株式会社ストライダーズ第7回新株予約権132個(新株予約権1個につき普通株式100,000株) | 株式会社ストライダーズ第7回新株予約権71個(新株予約権1個につき普通株式100,000株) |

(重要な後発事象)

(資本準備金の額の減少及び剰余金の処分)

当社は、平成29年5月16日開催の取締役会において、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会に、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関する議案を付議することを決議し、同株主総会において承認可決されました。

1. 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

当社は、平成29年3月期において生じております繰越利益剰余金欠損額を解消し、財務体質の健全化を図り、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的としております。

2. 資本準備金の額の減少の内容

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の一部を減少させ、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 268,010,000円のうち173,267,919円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 173,267,919円

3. 剰余金の処分の内容

上記2の資本準備金の額の減少の効力発生を条件として、会社法452条の規定に基づき、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることにより欠損を解消するものであります。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 173,267,919円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 173,267,919円

(3) 増減後の剰余金の残高

その他資本剰余金 0円

繰越利益剰余金 0円

(株式併合及び単元株式数の変更)

当社は、平成29年5月16日開催の取締役会において、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会に、株式併合及び単元株式数の変更に係る議案を付議することを決議し、同株主総会にて承認可決されました。

(1) 株式併合及び単元株式数の変更の目的

全国証券取引所は、「売買単位の集約に向けた行動計画」を公表し、全ての国内上場会社の普通株式の売買単位を最終的に100株に集約することを目指しております。当社は、東京証券取引所に上場する企業としてこの趣旨を尊重し、当社株式の売買単位である単元株式数を現在の1,000株から100株に変更するとともに、証券取引所が望ましいとする投資単位の水準(5万円以上50万円未満)に近づけることを目的として株式の併合を行うものであります。

(2) 株式併合の内容

併合する株式の種類

普通株式

併合の方法・比率

平成29年10月1日をもって、同年9月30日(実質上9月29日)の最終株主名簿に記録された株主様の所有株式を基準に、10株につき1株の割合をもって併合いたします。

併合により減少する株式数

|                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| 株式併合前の発行済株式総数(平成29年3月31日現在) | 88,870,896株 |
| 株式併合により減少する株式数              | 79,983,807株 |
| 併合後の発行済株式総数                 | 8,887,089株  |

(注)「株式併合により減少する株式数」及び「株式併合後の発行済株式総数」は、株式併合前の発行済株式総数および株式併合割合に基づき算出した理論値であります。

1株未満の端数が生じる場合の処理

本株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第235条の定めにより、一括して売却処分し、その売却代金を端数が生じた株主様に対して端数の割合に応じて分配いたします。

発行可能株式総数

本株式併合による発行済株式総数の減少に伴い、発行可能株式総数の適正化を図るため、平成29年10月1日をもって株式併合割合（10分の1）に応じて発行可能株式総数を変更いたします。

|          | 変更前          | 変更後（平成29年10月1日付） |
|----------|--------------|------------------|
| 発行可能株式総数 | 180,000,000株 | 18,000,000株      |

新株予約権の権利行使価額の調整

株式併合に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの権利行使価額を、平成29年10月1日以降、次のとおり調整いたします。

| 発行決議日                         | 調整前権利行使価額 | 調整後権利行使価額 |
|-------------------------------|-----------|-----------|
| 第6回新株予約権<br>平成25年5月14日取締役会決議  | 28円       | 280円      |
| 第7回新株予約権<br>平成26年10月17日取締役会決議 | 92円       | 920円      |
| 第8回新株予約権<br>平成27年9月18日取締役会決議  | 67円       | 670円      |

(3) 単元株式数の変更の内容

平成29年10月1日をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

(4) 株式併合及び単元株式数の変更の日程

|                      |                |
|----------------------|----------------|
| 取締役会決議日              | 平成29年5月16日     |
| 株主総会決議日              | 平成29年6月22日     |
| 株式併合及び単元株式数の変更の効力発生日 | 平成29年10月1日（予定） |

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が前連結会計年度の期首に実施されたと仮定した場合の、前連結会計年度及び当連結会計年度における1株当たり情報は次のとおりであります。

|                    | 前連結会計年度<br>(自平成27年4月1日<br>至平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成28年4月1日<br>至平成29年3月31日) |
|--------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 1株当たり純資産額          | 184.57円                                | 213.02円                                |
| 1株当たり当期純利益金額       | 15.25円                                 | 25.83円                                 |
| 潜在株式調整後の1株当たり当期純利益 | 15.11円                                 | 25.68円                                 |

【連結附属明細表】  
【借入金等明細表】

| 区分                      | 当期首残高<br>(千円) | 当期末残高<br>(千円) | 平均利率<br>(%) | 返済期限      |
|-------------------------|---------------|---------------|-------------|-----------|
| 短期借入金                   | 2,000         | 50,000        | 0.8         | -         |
| 1年以内に返済予定の長期借入金         | 149,632       | 166,108       | 1.3         | -         |
| 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。) | 819,266       | 733,712       | 1.6         | 平成30年～36年 |
| 計                       | 970,898       | 949,820       | -           | -         |

(注) 1. 平均利率については、期末借入金残高に対する加重平均利率を記載しております。

2. 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。)の連結決算日後5年間の返済予定額は以下のとおりであります。

|       | 1年超2年以内<br>(千円) | 2年超3年以内<br>(千円) | 3年超4年以内<br>(千円) | 4年超5年以内<br>(千円) |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 長期借入金 | 140,327         | 82,994          | 69,112          | 65,392          |

( 2 ) 【その他】

当連結会計年度における四半期情報等

| ( 累計期間 )                             | 第 1 四半期   | 第 2 四半期   | 第 3 四半期   | 当連結会計年度   |
|--------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 ( 千円 )                           | 1,506,078 | 3,056,488 | 4,684,364 | 6,366,301 |
| 税金等調整前四半期 ( 当期 )<br>純利益金額 ( 千円 )     | 116,803   | 186,199   | 210,960   | 277,793   |
| 親会社株主に帰属する四半期<br>( 当期 ) 純利益金額 ( 千円 ) | 84,325    | 137,836   | 149,652   | 229,226   |
| 1 株当たり四半期 ( 当期 ) 純<br>利益金額 ( 円 )     | 0.95      | 1.55      | 1.69      | 2.58      |

| ( 会計期間 )                | 第 1 四半期 | 第 2 四半期 | 第 3 四半期 | 第 4 四半期 |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 1 株当たり四半期純利益金額<br>( 円 ) | 0.95    | 0.60    | 0.13    | 0.90    |

## 2【財務諸表等】

## (1)【財務諸表】

## 【貸借対照表】

(単位：千円)

|             | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>資産の部</b> |                       |                       |
| 流動資産        |                       |                       |
| 現金及び預金      | 1,406,657             | 1,526,031             |
| 関係会社売掛金     | 470                   | -                     |
| 有価証券        | 51,023                | 15,541                |
| たな卸資産       | 1,293                 | -                     |
| 関係会社未収入金    | 124,687               | 104,516               |
| 関係会社短期貸付金   | 4,85,000              | 4,145,000             |
| 繰延税金資産      | 29,500                | 12,000                |
| その他         | 55,546                | 9,740                 |
| 流動資産合計      | 754,179               | 812,830               |
| 固定資産        |                       |                       |
| 有形固定資産      | 1,520                 | 1,237                 |
| 無形固定資産      | 1,260                 | 900                   |
| 投資その他の資産    |                       |                       |
| 投資有価証券      | 54,379                | 28,832                |
| 関係会社株式      | 866,548               | 871,727               |
| 長期貸付金       | 22,536                | 22,438                |
| 関係会社長期未収入金  | 40,000                | 37,258                |
| 関係会社長期貸付金   | 4,420,000             | 4,590,000             |
| 繰延税金資産      | -                     | 50,561                |
| その他         | 7,805                 | 8,013                 |
| 貸倒引当金       | 40,000                | 37,258                |
| 投資その他の資産合計  | 1,371,268             | 1,571,572             |
| 固定資産合計      | 1,374,049             | 1,573,710             |
| 資産合計        | 2,128,228             | 2,386,540             |

(単位：千円)

|               | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>負債の部</b>   |                       |                       |
| 流動負債          |                       |                       |
| 短期借入金         | 3 2,000               | 3 50,000              |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1 61,968              | 1 95,304              |
| 関係会社未払金       | 3,198                 | 225                   |
| 未払費用          | 7,592                 | 8,048                 |
| 未払法人税等        | 2,194                 | 3,208                 |
| 未払消費税等        | 1,197                 | 1,699                 |
| 賞与引当金         | 2,987                 | 2,713                 |
| 金利スワップ        | 39,495                | 30,274                |
| その他           | 3,719                 | 5,508                 |
| 流動負債合計        | 124,354               | 196,981               |
| 固定負債          |                       |                       |
| 長期借入金         | 1 554,048             | 1 539,298             |
| 長期預り敷金保証金     | 9,000                 | -                     |
| 固定負債合計        | 563,048               | 539,298               |
| 負債合計          | 687,402               | 736,279               |
| 純資産の部         |                       |                       |
| 株主資本          |                       |                       |
| 資本金           | 1,578,674             | 1,582,416             |
| 資本剰余金         |                       |                       |
| 資本準備金         | 264,268               | 268,010               |
| 資本剰余金合計       | 264,268               | 268,010               |
| 利益剰余金         |                       |                       |
| その他利益剰余金      |                       |                       |
| 繰越利益剰余金       | 367,819               | 173,267               |
| 利益剰余金合計       | 367,819               | 173,267               |
| 自己株式          | 3,020                 | 3,020                 |
| 株主資本合計        | 1,472,102             | 1,674,137             |
| 評価・換算差額等      |                       |                       |
| その他有価証券評価差額金  | -                     | 982                   |
| 繰延ヘッジ損益       | 39,495                | 30,274                |
| 評価・換算差額等合計    | 39,495                | 29,291                |
| 新株予約権         | 8,219                 | 5,415                 |
| 純資産合計         | 1,440,825             | 1,650,261             |
| 負債純資産合計       | 2,128,228             | 2,386,540             |



## 【損益計算書】

(単位：千円)

|                       | 前事業年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|-----------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 売上高                   | 1 117,882                              | 1 128,553                              |
| 売上原価                  | 462                                    | 1,293                                  |
| 売上総利益                 | 117,420                                | 127,260                                |
| 販売費及び一般管理費            | 2 164,726                              | 2 166,881                              |
| 営業損失( )               | 47,306                                 | 39,621                                 |
| 営業外収益                 |                                        |                                        |
| 受取利息                  | 1 17,592                               | 1 15,625                               |
| 受取配当金                 | 1 166,527                              | 1 183,134                              |
| 有価証券売却益               | 1,000                                  | 6,247                                  |
| その他                   | 10,375                                 | 8,723                                  |
| 営業外収益合計               | 195,495                                | 213,731                                |
| 営業外費用                 |                                        |                                        |
| 支払利息                  | 12,682                                 | 11,832                                 |
| 有価証券評価損               | 5,670                                  | -                                      |
| 為替差損                  | 16,326                                 | -                                      |
| その他                   | 4,870                                  | 125                                    |
| 営業外費用合計               | 39,549                                 | 11,958                                 |
| 経常利益                  | 108,639                                | 162,151                                |
| 特別利益                  |                                        |                                        |
| 投資有価証券売却益             | 30,805                                 | -                                      |
| その他                   | 88                                     | -                                      |
| 特別利益合計                | 30,893                                 | -                                      |
| 特別損失                  |                                        |                                        |
| 投資有価証券売却損             | 1,221                                  | -                                      |
| 投資有価証券評価損             | 44,744                                 | 47,682                                 |
| 関係会社株式評価損             | 3 125,000                              | -                                      |
| 特別損失合計                | 170,966                                | 47,682                                 |
| 税引前当期純利益又は税引前当期純損失( ) | 31,432                                 | 114,469                                |
| 法人税、住民税及び事業税          | 60,408                                 | 46,581                                 |
| 法人税等調整額               | 29,500                                 | 33,500                                 |
| 法人税等合計                | 89,908                                 | 80,081                                 |
| 当期純利益                 | 58,476                                 | 194,551                                |

【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

(単位：千円)

|                         | 株主資本      |         |             |                             |             |       | 株主資本合計    |
|-------------------------|-----------|---------|-------------|-----------------------------|-------------|-------|-----------|
|                         | 資本金       | 資本剰余金   |             | 利益剰余金                       |             | 自己株式  |           |
|                         |           | 資本準備金   | 資本剰余金<br>合計 | その他利益<br>剰余金<br>繰越利益<br>剰余金 | 利益剰余金<br>合計 |       |           |
| 当期首残高                   | 1,578,674 | 264,268 | 264,268     | 426,295                     | 426,295     | 2,976 | 1,413,670 |
| 当期変動額                   |           |         |             |                             |             |       |           |
| 新株の発行                   |           |         |             |                             |             |       |           |
| 当期純利益                   |           |         |             | 58,476                      | 58,476      |       | 58,476    |
| 自己株式の取得                 |           |         |             |                             |             | 44    | 44        |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |           |         |             |                             |             |       |           |
| 当期変動額合計                 | -         | -       | -           | 58,476                      | 58,476      | 44    | 58,431    |
| 当期末残高                   | 1,578,674 | 264,268 | 264,268     | 367,819                     | 367,819     | 3,020 | 1,472,102 |

|                         | 評価・換算差額等         |             |                | 新株予約権 | 純資産合計     |
|-------------------------|------------------|-------------|----------------|-------|-----------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 評価・換算<br>差額等合計 |       |           |
| 当期首残高                   | 35,077           | 30,329      | 4,748          | 5,994 | 1,424,412 |
| 当期変動額                   |                  |             |                |       |           |
| 新株の発行                   |                  |             |                |       |           |
| 当期純利益                   |                  |             |                |       | 58,476    |
| 自己株式の取得                 |                  |             |                |       | 44        |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | 35,077           | 9,166       | 44,243         | 2,225 | 42,018    |
| 当期変動額合計                 | 35,077           | 9,166       | 44,243         | 2,225 | 16,413    |
| 当期末残高                   | -                | 39,495      | 39,495         | 8,219 | 1,440,825 |

当事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

|                         | 株主資本      |         |             |                             |             |       |           |
|-------------------------|-----------|---------|-------------|-----------------------------|-------------|-------|-----------|
|                         | 資本金       | 資本剰余金   |             | 利益剰余金                       |             | 自己株式  | 株主資本合計    |
|                         |           | 資本準備金   | 資本剰余金<br>合計 | その他利益<br>剰余金<br>繰越利益<br>剰余金 | 利益剰余金<br>合計 |       |           |
| 当期首残高                   | 1,578,674 | 264,268 | 264,268     | 367,819                     | 367,819     | 3,020 | 1,472,102 |
| 当期変動額                   |           |         |             |                             |             |       |           |
| 新株の発行                   | 3,742     | 3,742   | 3,742       |                             |             |       | 7,484     |
| 当期純利益                   |           |         |             | 194,551                     | 194,551     |       | 194,551   |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |           |         |             |                             |             |       |           |
| 当期変動額合計                 | 3,742     | 3,742   | 3,742       | 194,551                     | 194,551     | -     | 202,035   |
| 当期末残高                   | 1,582,416 | 268,010 | 268,010     | 173,267                     | 173,267     | 3,020 | 1,674,137 |

|                         | 評価・換算差額等         |             |                | 新株予約権 | 純資産合計     |
|-------------------------|------------------|-------------|----------------|-------|-----------|
|                         | その他有価証<br>券評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 評価・換算<br>差額等合計 |       |           |
| 当期首残高                   | -                | 39,495      | 39,495         | 8,219 | 1,440,825 |
| 当期変動額                   |                  |             |                |       |           |
| 新株の発行                   |                  |             |                |       | 7,484     |
| 当期純利益                   |                  |             |                |       | 194,551   |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | 982              | 9,221       | 10,203         | 2,804 | 7,399     |
| 当期変動額合計                 | 982              | 9,221       | 10,203         | 2,804 | 209,435   |
| 当期末残高                   | 982              | 30,274      | 29,291         | 5,415 | 1,650,261 |

【注記事項】

(重要な会計方針)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

売買目的有価証券

時価法(売却原価は移動平均法により算定)

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品 個別法による原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によって算定しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。

工具、器具及び備品 4～5年

(2) 無形固定資産

自社利用ソフトウェア

社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上しております。

5. 重要なヘッジ会計の方針

・ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

・ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...金利スワップ

ヘッジ対象...借入金

・ヘッジ方針

当社の内規である「デリバティブ管理規程」に基づき、金利変動リスクをヘッジしております。

・ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、その変動額の比率によって有効性を評価しております。

6. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(貸借対照表)

前事業年度において、独立掲記しておりました「前払費用」は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度においては「流動資産」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「前払費用」に表示していた3,279千円は、「流動資産」の「その他」として組み替えております。

(損益計算書)

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「新株発行費」は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度においては「営業外費用」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外費用」の「新株発行費」に表示していた4,822千円は、「営業外費用」の「その他」として組み替えております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当事業年度から適用しております。

(貸借対照表関係)

1 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

|      | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日) |
|------|-----------------------|-----------------------|
| 定期預金 | 100,000千円             | 100,000千円             |

上記に対応する債務は、次のとおりであります。

|                       | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日) |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 長期借入金(1年以内返済予定のものも含む) | 538,239千円             | 502,947千円             |

2 保証債務

(1) 関係会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

|                  | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日)      |
|------------------|-----------------------|----------------------------|
| (株)グローバルホールディングス | 197,600千円             | (株)グローバルホールディングス 172,900千円 |
| (有)増田製麺          | 51,000                | (有)増田製麺 41,880             |
| (株)トラストアドバイザーズ   | 44,280                | (株)トラストアドバイザーズ 17,100      |

(2) 関係会社が管理組合と締結している管理委託契約に基づく債務に対し、債務保証を行っております。

|                | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日)   |
|----------------|-----------------------|-------------------------|
| (株)トラストアドバイザーズ | 15,024千円              | (株)トラストアドバイザーズ 15,814千円 |

### 3 当座貸越契約

当社は、資本効率の向上を図りつつ、必要な時に運転資金の効率的な調達を行うため、株式会社新生銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

|         | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成29年3月31日) |
|---------|-------------------------|-------------------------|
| 当座貸越限度額 | 50,000千円                | 100,000千円               |
| 借入実行残高  | 2,000                   | 50,000                  |
| 差引額     | 48,000                  | 50,000                  |

### 4

当社は連結子会社である(株)グローバルホールディングス、成田ゲートウェイホテル(株)、(株)倉敷ロイヤルアートホテル及び(株)トラストアドバイザーズとの間に極度貸付契約を締結し、貸付極度額を設定しております。これらの契約に基づく当事業年度末の貸出未実行残高は次のとおりであります。

|        | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日) |
|--------|-----------------------|-----------------------|
| 貸付極度額  | 620,000千円             | 720,000千円             |
| 貸出実行残高 | 500,000               | 660,000               |
| 差引額    | 120,000               | 60,000                |

#### (損益計算書関係)

#### 1 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。

|              | 前事業年度<br>(自平成27年4月1日<br>至平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(自平成28年4月1日<br>至平成29年3月31日) |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 関係会社への売上高    | 117,855千円                            | 128,053千円                            |
| 関係会社からの受取利息  | 10,585                               | 14,934                               |
| 関係会社からの受取配当金 | 164,000                              | 182,700                              |

#### 2 販売費に属する費用の割合は前事業年度、当事業年度ともに0%、一般管理費に属する費用の割合は前事業年度、当事業年度ともに100%であります。

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

|      | 前事業年度<br>(自平成27年4月1日<br>至平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(自平成28年4月1日<br>至平成29年3月31日) |
|------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 役員報酬 | 39,325千円                             | 37,950千円                             |
| 給与手当 | 40,138                               | 39,253                               |

### 3 関係会社株式評価損

前事業年度(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

当社の連結子会社である有限会社増田製麺について、当初想定していた事業計画を下回っていることを考慮し、事業価値を再評価した結果、同社株式を減損処理したことによるものであります。

当事業年度(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

該当事項はありません。

#### (有価証券関係)

子会社株式及び関連会社株式(当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式835,483千円、関連会社株式36,243千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式835,483千円、関連会社株式31,065千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

## (税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|               | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 繰延税金資産(流動)    |                       |                       |
| 賞与引当金         | 921千円                 | 837千円                 |
| 繰越欠損金         | 29,500                | 12,000                |
| その他           | 114                   | 123                   |
| 繰延税金資産(流動)小計  | 30,536                | 12,961                |
| 評価性引当額        | 1,036                 | 961                   |
| 繰延税金資産(流動)合計  | 29,500                | 12,000                |
| 繰延税金資産(固定)    |                       |                       |
| 繰越欠損金         | 346,407               | 305,107               |
| 投資有価証券評価損     | 15,423                | 30,138                |
| 関係会社株式評価損     | 185,468               | 185,468               |
| 貸倒引当金超過額      | 12,344                | 11,498                |
| その他           | 848                   | 691                   |
| 繰延税金資産(固定)小計  | 560,493               | 532,905               |
| 評価性引当額        | 560,493               | 481,905               |
| 繰延税金資産(固定)合計  | -                     | 51,000                |
| 繰延税金負債(固定)    |                       |                       |
| その他有価証券評価差額金  | -                     | 438                   |
| 繰延税金負債(固定)合計  | -                     | 438                   |
| 繰延税金資産(固定)の純額 | -                     | 50,561                |

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

|                      | 前事業年度<br>(平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(平成29年3月31日) |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 法定実効税率               | 税引前当期純損失を             | 30.9%                 |
| (調整)                 | 計上しているため、             |                       |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | 記載を省略しており             | 49.3                  |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目   | ます。                   | 0.1                   |
| 住民税均等割               |                       | 0.8                   |
| 評価性引当の増減             |                       | 21.2                  |
| 連結納税による影響            |                       | 32.7                  |
| その他                  |                       | 1.5                   |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率    |                       | 70.0                  |

## 3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律」(平成28年法律第85号)及び「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律」(平成28年法律第86号)が平成28年11月18日に国会で成立し、消費税率の10%への引上げ時期が平成29年4月1日から平成31年10月1日に延期されました。

これに伴い、地方法人特別税の廃止及びそれに伴う法人事業税の復元、地方法人税の税率改正、法人住民税法人税割の税率改正の実施時期も平成29年4月1日以後に開始する事業年度から平成31年10月1日以後に開始する事業年度に延期されました。

繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率に変更はありません。また、国税と地方税の間で税率の組替えが発生しますが、財務諸表に与える影響は軽微であります。

## (重要な後発事象)

## (資本準備金の額の減少及び剰余金の処分)

当社は、平成29年5月16日開催の取締役会において、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会に、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関する議案を付議することを決議し、同株主総会において承認可決されました。

詳細につきましては、「1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (重要な後発事象)」をご参照ください。

## (株式併合及び単元株式数の変更)

当社は、平成29年5月16日開催の取締役会において、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会に、株主併合及び単元株式数の変更に係る議案を付議することを決議し、同株主総会にて承認可決されました。

詳細につきましては、「1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (重要な後発事象)」をご参照ください。

なお、当該株式併合が前事業年度の期首に実施されたと仮定した場合の、前事業年度及び当事業年度における1株当たり情報は次のとおりであります。

|                     | 前事業年度<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成28年3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成28年4月1日<br>至 平成29年3月31日) |
|---------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 1株当たり純資産額           | 161.50円                                | 185.14円                                |
| 1株当たり当期純利益金額        | 6.59円                                  | 21.92円                                 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 6.53円                                  | 21.80円                                 |

## 【附属明細表】

## 【有形固定資産等明細表】

(単位：千円)

| 区分     | 当期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期償却額 | 当期末残高 | 減価償却<br>累計額 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 有形固定資産 | -     | -     | -     | 761   | 1,237 | 7,646       |
| 無形固定資産 | -     | -     | -     | 360   | 900   | -           |

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の金額がそれぞれ資産の総額の1%以下であるため、「当期首残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の記載を省略しております。

## 【引当金明細表】

(単位：千円)

| 科目    | 当期首残高  | 当期増加額  | 当期減少額  | 当期末残高  |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 貸倒引当金 | 40,000 | 37,258 | 40,000 | 37,258 |
| 賞与引当金 | 2,987  | 2,713  | 2,987  | 2,713  |

## (2) 【主な資産及び負債の内容】

連結財務諸表を作成しているため、記載を省略しております。

## (3) 【その他】

該当事項はありません。



## 第6【提出会社の株式事務の概要】

| 事業年度                                                          | 4月1日から3月31日まで                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                    |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------|--|-----------------|--------------------|--------------------------------|--------|--------|----------------------------------|--------|--------|-----------------|--------|--------|
| 定時株主総会                                                        | 6月中                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                    |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 基準日                                                           | 3月31日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                    |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 剰余金の配当の基準日                                                    | 9月30日<br>3月31日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                    |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 1単元の株式数                                                       | 1,000株                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                    |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 単元未満株式の買取り<br><br>取扱場所<br><br>株主名簿管理人<br><br>取次所<br><br>買取手数料 | (特別口座管理機関)<br>東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br><br>株主名簿管理人においては取扱っておりません。<br><br><br><br>株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                    |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 公告掲載方法                                                        | 当会社の公告は、電子公告の方法により行う。ただし、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。<br>なお、電子公告は当会社のウェブサイトに掲載しており、そのアドレスは次のとおりであります。<br><a href="http://www.striders.co.jp/">http://www.striders.co.jp/</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                    |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 株主に対する特典                                                      | (1) 対象株主：毎年3月末日、9月末日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式2単元(2,000株)以上保有している株主<br>(2) 優待内容：<br><table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保有株数</th> <th colspan="2">優待内容</th> </tr> <tr> <th>当社グループホテルご利用券 1</th> <th>とらふぐ料理専門店関門海ご優待券 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000株(2単元)以上<br/>5,000株(5単元)未満</td> <td>1,000円</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td>5,000株(5単元)以上<br/>10,000株(10単元)未満</td> <td>3,000円</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td>10,000株(10単元)以上</td> <td>5,000円</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 当社グループホテルである成田ゲートウェイホテル及び倉敷ロイヤルアートホテルにおいてご利用になれます。<br/>2 関門海の各店舗でのご利用、もしくは玄品ふぐオリジナル商品と交換させていただきます。<br/>株主優待の内容については今後変更となる可能性があります。</p> | 保有株数               | 優待内容 |  | 当社グループホテルご利用券 1 | とらふぐ料理専門店関門海ご優待券 2 | 2,000株(2単元)以上<br>5,000株(5単元)未満 | 1,000円 | 1,000円 | 5,000株(5単元)以上<br>10,000株(10単元)未満 | 3,000円 | 2,000円 | 10,000株(10単元)以上 | 5,000円 | 3,000円 |
| 保有株数                                                          | 優待内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
|                                                               | 当社グループホテルご利用券 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | とらふぐ料理専門店関門海ご優待券 2 |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 2,000株(2単元)以上<br>5,000株(5単元)未満                                | 1,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1,000円             |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 5,000株(5単元)以上<br>10,000株(10単元)未満                              | 3,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 2,000円             |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |
| 10,000株(10単元)以上                                               | 5,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 3,000円             |      |  |                 |                    |                                |        |        |                                  |        |        |                 |        |        |

### (注) 1. 単元未満株式の権利制限

当社の株主は、その有する単元未満株式について、次に掲げる権利以外の権利を行使することが出来ない旨を定款で定めております。

- (1) 会社法第189条第2項各号に掲げる権利
  - (2) 取得請求権付株式の取得を請求する権利
  - (3) 株主の有する株式数に応じて募集株式の割当て及び募集新株予約権の割当てを受ける権利
2. 平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会において、株式併合の効力発生日である平成29年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更する定款変更を行う旨承認可決されました。
3. 当社の株主名簿管理人は以下のとおりであります。

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

## 第7【提出会社の参考情報】

### 1【提出会社の親会社等の情報】

当社は、親会社等はありません。

### 2【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類並びに確認書

事業年度(第52期)(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)平成28年6月27日関東財務局長に提出

(2) 内部統制報告書及びその添付書類

平成28年6月27日関東財務局長に提出

(3) 四半期報告書及び確認書

(第53期第1四半期)(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)平成28年8月10日関東財務局長に提出

(第53期第2四半期)(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)平成28年11月11日関東財務局長に提出

(第53期第3四半期)(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)平成29年2月10日関東財務局長に提出

(4) 臨時報告書

・平成28年6月30日関東財務局長に提出

企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号(提出会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象)に基づく臨時報告書であります。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

平成29年6月21日

株式会社ストライダース

取締役会 御中

### 監査法人アリア

代表社員 公認会計士 茂木 秀俊 印  
業務執行社員  
代表社員 公認会計士 山中 康之 印  
業務執行社員

#### <財務諸表監査>

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社ストライダースの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、その他の注記及び連結附属明細表について監査を行った。

#### 連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ストライダース及び連結子会社の平成29年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 強調事項

1. 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成29年5月16日開催の取締役会において、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会に、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の件に関する議案を付議することを決議し、同株主総会において承認された。
2. 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成29年5月16日開催の取締役会において、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会に、株式併合及び単元株式数の変更に関する議案を付議することを決議し、同株主総会において承認された。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

#### < 内部統制監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第2項の規定に基づく監査証明を行うため、株式会社ストライダーズの平成29年3月31日現在の内部統制報告書について監査を行った。

#### 内部統制報告書に対する経営者の責任

経営者の責任は、財務報告に係る内部統制を整備及び運用し、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して内部統制報告書を作成し適正に表示することにある。

なお、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した内部統制監査に基づいて、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、当監査法人に内部統制報告書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき内部統制監査を実施することを求めている。

内部統制監査においては、内部統制報告書における財務報告に係る内部統制の評価結果について監査証拠を入手するための手続が実施される。内部統制監査の監査手続は、当監査法人の判断により、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性に基づいて選択及び適用される。また、内部統制監査には、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果について経営者が行った記載を含め、全体としての内部統制報告書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、株式会社ストライダーズが平成29年3月31日現在の財務報告に係る内部統制は有効であると表示した上記の内部統制報告書が、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価結果について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
  2. X B R L データは、監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

平成29年6月21日

株式会社ストライダーズ  
取締役会 御中

### 監査法人アリア

代表社員 公認会計士 茂木 秀俊 印  
業務執行社員  
代表社員 公認会計士 山中 康之 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社ストライダーズの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第53期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ストライダーズの平成29年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 強調事項

- 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成29年5月16日開催の取締役会において、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会に、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の件に関する議案を付議することを決議し、同株主総会において承認された。
  - 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成29年5月16日開催の取締役会において、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会に、株式併合及び単元株式数の変更に関する議案を付議することを決議し、同株主総会において承認された。
- 当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
- X B R L データは、監査の対象には含まれていません。